

英語で説明する

日本

植田一三

アクエアリーズ学長

上田敏子

アクエアリーズ副学長

発信力強化法と トレーニング

日本のことを英語できちんと説明できるようになりたい方、
「全国通訳案内士試験」合格をめざす方、
全国通訳案内士、地域通訳案内士、英語ガイドの方、
英語圏へ留学する方、
国際交流のためにボランティアで日本を案内するガイドさん必携!



英語で説明する 「日本」 発信力強化法と トレーニング



植田一三

アクエアリーズ学長

上田敏子

アクエアリーズ副学長

語研

おかげさまで、2007年の『日本の地理・歴史の知識と英語を身につける』に始まり、日本文化の英語説明・通訳案内士対策本は、現在までに13冊、雑誌『ゼロからスタート English』は17冊と、計30冊執筆するに至りました。それらは、日本の伝統文化の紹介、名所案内、地理・歴史、通訳案内士1次・2次試験対策と多岐にわたっていますが、「日本事象」英語説明力の根本的なスキルUPのためのノウハウを効率よく示したものではありませんでしたので、今回はそれを強化するための基礎力UPと実践トレーニングを1冊にまとめました。

本書は、大きく「基礎力UP編」と「実践トレーニング編」に分かれています。基礎力UP編では、日本事象英語発信力UPの概論と「英和辞典の危険性」を述べた後、「英語発信力UP必須類語の使い分け10グループ」のトレーニングを行い、英単語の意味の広がりをつかんで使いこなす「基本動詞・句動詞」と「多義語」の基礎知識を身につけます。

次に「英語発信力」を生まれ変わらせる「ハイフン&接頭・接尾辞表現」をマスターし、その後、「日本事象発信力UP語彙クイズ」「必須例文30」「和製英語と英語の発想力」で英語表現力を一気にUPさせます。また、日本文化発信力UP英文法では、「時制と仮定法」「限定詞」、名詞の「可算性」と「複数名詞」、文型の「文型・構文」「前置詞」などのコンセプトをつかんで、それらをぶれなく使いこなせるように解説&トレーニングします。

第2章の「「日本事象」英訳トレーニングにチャレンジ!」では、「修飾のバランス」「日本事象英訳トレーニング(TPOに応じたロングとショートバージョンの作り方)」「和食マナーを説明するための動作表現」を身につけ、さらに「外国人から絶対聞かれる日本に関するQ&A」「現代用語英語説明トレーニング」では、「日本事象」についての説明をspoken Englishとwritten EnglishのどちらでもできるようにスキルUPします。また、温泉・悪天候・食事・宿泊・祭りでのトラブル対応を解説した「観光案内トラブルシューティング」も収録しました。

以上、約20年の日本文化発信力UP研究の集大成として完成された本書の制作にあたり、多大な協力をしてくれたアクエアリーズスタッフの柏本左智氏(第2章:外国人から絶対聞かれる日本に関するQ&A執筆協力)、星野隆子氏(第2章:現代用語の英語説明執筆協力)、常田純子氏(第1章:日本事象発信力UP語彙クイズと和製英語執筆協力)、田中秀樹氏(第1章:前置詞のコンセプト&必須例文30執筆協力と全体校正)、および(株)語研編集部鳥袋一郎氏には心から感謝の意を表します。それから何よりも、我々の努力の結晶である著書を愛読して下さる読者の皆さんには、心からお礼を申し上げます。それではみなさん、明日に向かって英悟の道を、

Let's enjoy the process!(陽は必ず昇る!)

植田一三&上田敏子

iii

プロローグ	iii
-------------	-----

第1章 「日本事象」英語発信力強化法はこれだ！

基礎力UP編

1 日本のことを何でも英語で説明するスキルUP法	2
2 英和辞典の意味につられず、正しく英語の語彙を使う！	4
3 文脈に応じて類語を効果的に使い分ける！	9

英語発信力UP 必須類語の使い分け10グループ

Group 1 「なる」の類語の使い分けをマスター！	9
→「なる」は become 以外に, get, grow, come, go, turn, reach, fall などを使い分ける！	
Group 2 「する」の類語の使い分けをマスター！	12
→「する」は do 以外に, make, give, have, run, take, play などを使い分ける！	
Group 3 「言う」の類語の使い分けをマスター！	15
→「言う・話す」は say 以外に, talk, speak, tell, give などを使い分ける！	
コラム 最重要「間違えやすいコロケーション」に要注意！	18
Group 4 「与える」の類語の使い分けをマスター！	19
→「与える」は give 以外に, have, make, cause [do], supply, provide などを使い分ける！	
Group 5 「作る」の類語の使い分けをマスター！	21
→「作る」は make 以外に, build, set, make up, create, provide などを使い分ける！	
Group 6 「わかる」の類語の使い分けをマスター！	24
→「わかる」は understand 以外に, know, tell, find (out), see, figure out などを使い分ける！	
Group 7 「思う」の類語の使い分けをマスター！	28
→「思う」は think 以外に, expect, believe, find, take, imagine などを使い分ける！	
コラム 類語は「プロセス」と「結果」の見地からとらえよう！	31
Group 8 「変わる・変える」の類語の使い分けをマスター！	32
→「変わる・変える」は change 以外に, vary, replace, exchange などを使い分ける！	
Group 9 「含む」の類語の使い分けをマスター！	34
→「含む」は include 以外に, cover, contain, involve などを使い分ける！	
Group 10 「妨げる」の類語の使い分けをマスター！	36
→「妨げる」は prevent 以外に, disturb, block, interrupt, interfere などを使い分ける！	

類語グループ「壊す」の使い分けをマスター！	39
コラム コミュニケーション力 UP には固有名詞の発音に要注意！	40
4 基本動詞・句動詞の知識で英語発信力数段 UP！	41
▶ 英語発信力 UP 「必須基本動詞」クイズにチャレンジ！	42
5 英単語の意味の広がりをつかみ、多義語を効果的に使いこなす！	48
▶ 英語発信力 UP 「多義語」クイズにチャレンジ！	49
6 性差別表現を避け、 political correctness を実践する！	52
7 英語発信力数段 UP ハイフン&接頭・接尾辞表現をマスター！	53
▶ 英語発信力 UP 「ハイフン語」クイズにチャレンジ！	54
8 日本事象発信力 UP 語彙クイズにチャレンジ！	58
▶ 日本事象発信力 UP 語彙クイズにチャレンジ！	
① 観光編 (1)	58
② 観光編 (2)	60
③ 宗教編 (1)	64
④ 宗教編 (2)	66
⑤ 伝統文化／歴史編 (1)	69
⑥ 伝統文化／歴史編 (2)	71
⑦ 食文化編 (1)	74
⑧ 食文化編 (2)	76
⑨ 日本の衣と住	79
⑩ 武道・エンタメ	82
重要日本事象語彙をマスター！	
観光 (庭園・城、神社仏閣・祭り、観光一般、乗り物・交通)	62
日本の宗教 (仏教、神道、日本人の心と文学)	68
伝統文化・歴史 (茶道、書道、伝統芸能・文化、歴史)	73
日本の食 (人気の日本食！)	78
日本の衣と住 (伝統的建築、住居、衣服・日用品)	81
日本の武道・エンタメ (武道、伝統的遊び、現代のエンタメ)	84
9 和製英語と日英発想の違いに要注意！	85
1. 和製英語に要注意！	
▶ 和製英語クイズにチャレンジ！ ①	86
問題 1 次の日本語を英語にしてみましょう。	88
(もっと私たちは富士山のことを世界にアピールしなければなりません。)	
▶ 和製英語クイズにチャレンジ！ ②	89
問題 2 次の日本語を英語にしてみましょう。	91
(合気道にチャレンジしてみては？)	

▶和製英語クイズにチャレンジ! ③.....92
 問題3 次の日本語を英語にしてみましょう。.....94
 (これはサービス価格でございます。)

▶和製英語クイズにチャレンジ! ④.....95
 問題4 次の日本語を英語にしてみましょう。.....97
 (日本人はブランドに目がない。)

▶和製英語クイズにチャレンジ! ⑤.....98
 ◎その他の要注意和製英語はこれだ! 100

2. 日英発想の違いに要注意!

問題1 次の日本語を英語の発想で翻訳してみましょう。..... 103
 1. 僭越ながら開会の辞を取らせていただきます。
 2. 日本に四季があるのは幸せだ。

問題2 次の日本語を英語の発想で翻訳してみましょう。..... 104
 1. 仕事がたくさんあるんだ。
 2. またか。(災難に遭って)
 3. よくないな。(いまいちな仕事の出来栄えに対して)

問題3 次の日本語を英語の発想で翻訳してみましょう。..... 105
 1. 大きなミスをした人が二度としないというときに
 「もう二度としません。」
 2. 気が弱くて、うじうじしている人に
 「なせば成るだ!」
 3. 戦争の話をしていて
 「そのことで戦争が終結した。」

問題4 次の日本語を英語の発想で翻訳してみましょう。..... 107
 1. これからもどうぞよろしくお願いします。
 2. どうもすみません。《お礼》
 3. お陰様で。《お礼》

問題5 次の日本語を英語の発想で翻訳してみましょう。..... 108
 1. それはちょっと難しいですね。(嫌なことを頼まれて断りたい時に)
 2. あなた頑張ってるね。(夜遅くまで仕事をしている夫に対して妻が)

10 この30例文を覚えるだけで表現力数段UP! 109
11 日本文化英語発信力UP 英文法をマスター! 122
12 英語の「時制」「仮定法」を正しく使いこなす! 124

13 冠詞のコンセプトをつかんで使いこなす！	129
14 「限定詞」の使い方に要注意！	132
15 名詞の「可算性」と「複数名詞」をマスター！	133
16 英語発信力 UP のための文型・構文をマスター！	135
17 できるだけ日本語の語順に近い英語で発信すると楽になる	138
18 倒置形を使うと英語が楽に話せる！	139
19 「前置詞」はコンセプトをつかみ応用せよ！	140
▶ 「で」に関する前置詞のクイズにチャレンジ！	141
「で」の必須用法をチェック！	145
▶ 「に」に関する前置詞のクイズにチャレンジ！	147
「に」の必須用法をチェック！	149
▶ 「の」に関する前置詞のクイズにチャレンジ！	151
「の」の必須用法をチェック！	154
▶ 「を」に関する前置詞のクイズにチャレンジ！	155
「を」の必須用法をチェック！	157
▶ 「から」に関する前置詞のクイズにチャレンジ！	158
「から」の必須用法をチェック！	160
20 前置詞別「重要例文」をマスター！	163
21 その他のスピーキング力 UP 文法テクニック！	166

第2章 「日本事象」英訳トレーニングにチャレンジ！

実践トレーニング編

1 名詞前後の修飾表現のバランスを考えて日本事象を説明してみよう！	170
例題 1 「狛犬」	171
例題 2 「お守り」	174
▶ 日本事象英訳トレーニング	
① 1. カツ丼 2. 柏餅 3. ざるそば	175
② 4. 炊き込みご飯 5. ちまき 6. きんとん	178
③ 7. 手巻き寿司 8. おむすび	179

④ 9. 地藏 10. 帰省ラッシュ	179
--------------------	-----

コラム 観光案内トラブルシューティング ①温泉編	181
---------------------------------	-----

2 詳しいロングバージョンとショートバージョンをマスター!	184
--------------------------------------	-----

▶ 日本事象英訳トレーニング

①「 <small>かがみもち</small> 鏡餅」の英訳にチャレンジ!	184
②「 <small>ちようずや</small> 手水舎」の英訳にチャレンジ!	185
③「 <small>しめなわ</small> 注連縄」の英訳にチャレンジ!	186
④「 <small>てんしゅくわん</small> 天守閣」の英訳にチャレンジ!	186
⑤「 <small>ちせんかいゆうしき</small> 池泉回遊式庭園」の英訳にチャレンジ!	187
⑥「 <small>うぐいすば</small> 鶯張り」の英訳にチャレンジ!	187
⑦「 <small>すいぼく</small> 水墨画」の英訳にチャレンジ!	188
⑧「 <small>はまや</small> 破魔矢」の英訳にチャレンジ!	188
⑨「 <small>いはい</small> 位牌」の英訳にチャレンジ!	189
⑩「 <small>がっしょうづく</small> 合掌造り」の英訳にチャレンジ!	189
⑪「 <small>おにがわら</small> 鬼瓦」の英訳にチャレンジ!	190
⑫「 <small>かしわて</small> 柏手」の英訳にチャレンジ!	190
⑬「 <small>はなふだ</small> 花札」の英訳にチャレンジ!	191
⑭「 <small>かどまつ</small> 門松」の英訳にチャレンジ!	192
⑮「 <small>じょうるり</small> 浄瑠璃」の英訳にチャレンジ!	192
⑯「 <small>ちよんまげ</small> ちょんまげ」の英訳にチャレンジ!	193
⑰「 <small>たりきほんがん</small> 他力本願」の英訳にチャレンジ!	193
⑱「 <small>いあいどう</small> 居合道」の英訳にチャレンジ!	194
⑲「 <small>えま</small> 絵馬」の英訳にチャレンジ!	195
⑳「 <small>じちんさい</small> 地鎮祭」の英訳にチャレンジ!	196

コラム 観光案内トラブルシューティング ②悪天候編	197
----------------------------------	-----

3 和食マナーを説明するための動作表現力をUP!	200
---------------------------------	-----

▶ 動作表現日英クイズにチャレンジ!

問題1 「下の箸は動かさず、上の箸を動かして、食べ物をつまみます。」	200
問題2 「和食をお箸で食べる時は、食べ物を卓上にこぼさないように、お茶碗や汁椀は手で持ち上げてください。」	201
問題3 「寿司を左側に倒し、箸または親指、人差し指、中指でつかみます。」	202

問題 4 「醤油の中にネタの魚だけをつけます。余分な醤油を切るために寿司を振ってはいけません。」.....	202
問題 5 「生の海鮮が載ったちらし寿司を食べる時、小皿に醤油を入れて、食べる直前にネタをつけて食べます。ネタに醤油を上からかけたりしてはいけません。」.....	203
問題 6 「醤油がこぼれないように、醤油の小皿を持ち上げます。手を受け皿のようにして食べるのはマナー違反です。」.....	204
問題 7 「蕎麦湯は蕎麦を茹でた湯です。蕎麦つゆに混ぜて、飲むことができます。」...	204
問題 8 「温かい蕎麦をいただく際は、まず、食卓に出されている七味などの薬味を足す前につゆを味わいます。もし薬味が必要であればつゆに加え、好みの味に調整します。」...	205
問題 9 「温かい蕎麦にはスープ用のスプーンがついていませんので、つゆは丼から直接飲んでください。」.....	206
問題 10 「麺を食べる時は、途中で噛み切ることなく一口で食べられる分だけ箸でつかみます。」.....	206
問題 11 「串から直接焼き鳥を食べる時、串先からはじめ、一つひとつ最後まで食べます。食べては箸で肉を串先へ押してください。」.....	207
問題 12 「お酒を注いでもらう時、右手で杯を持ち、左手の指を杯の底に添えてください。」.....	208
問題 13 「ビールを注いでもらう時は両手でグラスを持ちましょう。ビールの泡があふれないように、傾げるのではなく垂直に持ってください。」.....	209

コラム 観光案内トラブルシューティング ③食事編..... 210

4 外国人から絶対聞かれる日本に関する Q&A で表現力 UP ! 212

▶外国人から絶対聞かれる日本に関する Q & A

Rank 1 日本人はなぜマスクをするのですか..... 212
マスクの背景知識はこれだ! 216

Rank 2 なぜ日本人はあまり自己主張しないのですか..... 217
日本人の自己主張に関する背景知識はこれだ! 220

Rank 3 なぜ日本人はすぐに「すみません」と言うのですか..... 221
日本の配慮表現に関する背景知識はこれだ! 224

Rank 4	なぜ日本人は一般的に他人を家に招待しないのですか.....	225
	日本の住居に関する背景知識はこれだ！	228
Rank 5	日本の庭園と西洋の庭園の違いは？.....	229
	日本庭園の背景知識はこれだ！	232
Rank 6	天皇と将軍の違いは？.....	233
	天皇の背景知識はこれだ！	236
Rank 7	磁器・陶器・漆器の違いは？.....	238
	磁器・陶器・漆器の背景知識はこれだ！	241
Rank 8	なぜほとんどの日本人はマイカーをピカピカにするのですか.....	243
	神道の「清浄」の背景知識はこれだ！	246
Rank 9	どうして力士は相撲の取組の前に塩をまくのですか.....	248
	相撲の背景知識はこれだ！	250

コラム 観光案内トラブルシューティング ④宿泊編..... 252

5	現代用語の英語説明にチャレンジ！.....	254
▶重要度 1 位	マイナンバー (My Number).....	254
	「マイナンバー」の背景知識はこれだ！	258
▶重要度 2 位	令和 (Reiwa).....	259
	「令和」の背景知識はこれだ！	262
▶重要度 3 位	みどりの窓口 (Midori-no-Madoguchi).....	263
	「みどりの窓口」の背景知識はこれだ！	265
▶重要度 4 位	歴女 (Rekijyo).....	266
	「歴女」の背景知識はこれだ！	269
▶重要度 5 位	アラサー (Ara-sa).....	270
	「アラサー」の背景知識はこれだ！	273
▶重要度 6 位	聖地巡礼 (Seichijunrei).....	274
	「聖地巡礼」の背景知識はこれだ！	276
▶重要度 7 位	新幹線 (Shinkansen).....	277
	「新幹線」の背景知識はこれだ！	279
▶重要度 8 位	働き方改革 (Hatarakikata kaikaku).....	280
	「働き方改革」の背景知識はこれだ！	282

▶重要度 9 位	女子力 (Joshiryoku)	283
	「女子力」の背景知識はこれだ!	285
▶重要度 10 位	終活 (Shūkatsu)	286
	「終活」の背景知識はこれだ!	288
▶重要度 11 位	民泊 (Minpaku)	289
	「民泊」の背景知識はこれだ!	292
▶重要度 12 位	コミケ (Comike)	293
	「コミケ」の背景知識はこれだ!	295
▶重要度 13 位	南海トラフ (Nankai Trough)	296
	「南海トラフ」の背景知識はこれだ!	298
▶重要度 14 位	ポケモン GO (Pokémon GO)	299
	「ポケモン GO」の背景知識はこれだ!	301
▶重要度 15 位	コスプレ (Cosplay)	302
	「コスプレ」の背景知識はこれだ!	304
▶重要度 16 位	ビジットジャパン (Visit Japan)	305
	「ビジットジャパン」の背景知識はこれだ!	307
▶重要度 17 位	漫画喫茶 (Manga Kissa)	308
	「漫画喫茶」の背景知識はこれだ!	310
▶重要度 18 位	メンヘラ (Menhera)	311
	「メンヘラ」の背景知識はこれだ!	313
▶重要度 19 位	子ども食堂 (Kodomo-shokudo)	314
	「子ども食堂」の背景知識はこれだ!	316
▶重要度 20 位	カジノ法 (Casino Law)	317
	「カジノ法」の背景知識はこれだ!	319
コラム	観光案内トラブルシューティング ⑤祭り編	320

【装丁】 神田 昇和 (Norikazu KANDA)

第 1 章

「日本事象」 英語発信力 強化法はこれだ!

Photos in this chapter: Licensed under Public Domain via Wikimedia Commons

[英語で説明する「日本」発信力強化法とトレーニング ためし読み](#) [Webページへ](#)

基礎力UP編 1

「日本事象」英語発信力強化法はこれだ！

日本のことを何でも英語で説明する スキルUP法

外国人を案内する場合に、リスニングを除いて必要なスキルは、感謝したり、謝罪したり、誉めたり注意したりする「**基本的な英会話力**」、さまざまな事物や状況を説明できる「**事物・状況描写力**」、トラブルが発生したり、無理なリクエストを受けたときに英語で対応できる「**問題解決力**」の3つです。この中でも、最も重要なのは2つ目の「**事物・状況描写力**」です。

これらの英語のスピーキング力を最も効果的にUPするために、語彙・表現力、英文法力、英語発想力、日本文化知識力の見地から、日本人の英語の発信上のさまざまな問題点とその克服法は次のとおりです。

第1に「**語彙面**」では、最も重要なことは「**類語の使い分け**」です。例えば「お客さん」といっても、a law firm's client, (department) customers, (museum) visitors, (hotel) guests とコロケーション（語と語との結びつき）が変わってきますし、「料金」でも (commodity) prices, (admission) fees, (travel) expenses, (shipping) costs, (table) charges, (room) rates とコロケーションが変わってきます。本書では、英語を話す上で最も重要な「**3 英語発信力UP 必須類語の使い分け10グループ**」（☞9ページ）をマスターしていただきましょう。

次に重要なのが、「**基本動詞・句動詞の運用力**」です。give, get, take, make, do, put, run, have, come, go などの基本動詞とその句動詞を使いこなすことが、口語英語を話す上で非常に重要です。本書では、表現力を数段UPするために、必須基本動詞のさまざまな用法について、練習問題にチャレンジしながらマスターしていただきましょう。

次に重要なのが、「**英和辞典に書かれた英単語の意味につられずに、適確に英単語を使いこなすこと**」です。事実、日本人英語学習者のほとんどは、多くの英単語を正しく語彙を使えないか、誤解して使っている場合が多いので、religion, education, treat, proud をはじめとする単語の正しい認識に基づいて、いろいろ

な英単語を適確に使えるように本書で解説していきます。

最後に重要なのが、「**外来語の弊害**」で英単語を誤用しないようにすることです。日本でよく使われている外来語には、英語でないものや英語であっても発音が異なるために通じないものがたくさんあります。本書では注意すべき重要な外来語のトレーニングを、問題練習を通して行います。

第2に「**文法面**」では、ノンネイティブは母語の干渉からくる文法ミス (interlingual transfer error) を非常に犯しやすいので要注意です。特に「**時制**」のミスが非常に多く、「**前置詞**」のシンボルがつかめていないのでよく使い方を間違え、「**助動詞・仮定法**」が使いこなせず、「**冠詞**」や「**名詞の可算・不可算**」をよく間違えているので、それらをできるだけ減らせるように、それぞれのコンセプトをわかりやすく例を挙げて説明し、特に前置詞に関しては、「**19「前置詞」はコンセプトをつかみ応用せよ!**」(☞ 140 ページ) でその用法をマスターしていただきましょう。

最後に「**発想・論理性面**」では、多くの日本人英語学習者が、日本語の発想から来る英語を使って通じなかったり、不自然な英語になったり、また論理的に判断して分析する力が欠けているために、わけのわからない英語になったり、頭の中で意見がまとめられないために非常にわかりにくい英語を発信してしまうようです。この発想・論理性面は、日本人にとっては「カルチャーショック」を伴う試練と言えるもので、論理明快で世界中の人々が理解しやすく、差別のない“borderless English”が話せるようになって欲しいものです。本書では、日本文化の知識を身につけながら、「日本事象和文英訳問題」や「英語での日本事象プレゼン問題」を通して、そのスキルUPを行います。

「**事物・状況描写力**」と
「**問題解決力**」が重要です！



基礎力UP編 2

「日本事象」英語発信力強化法はこれだ！

英和辞典の意味につられず、 正しく英語の語彙を使う！

英語を発信する上で大きな弊害のひとつは、英単語を、英和辞典や和英辞典、単語集に書かれた英単語の和訳（英訳）で理解することによって、**英単語の意味を誤解したまま使ってしまう**ことです。英和辞典の単語の和訳は、元の英単語に意味的に近い日本語の *equivalent* を書いているだけで、しかも「数撃ちや当たる式」にたくさん載せているので、英英辞典に見られるような説明的な単語の解説と比較すると、ずれがあるものが非常に多くなります。よって英和辞典に頼っていると、英単語を誤解したり、**英単語の意味の広がり (semantic field)** がつかめず、語感 (a feeling for the English language) が養われず、どんどんと「英語音痴」になっていき、語彙を正しく運用することができません。

例えば **friendly** は、英和辞典にあるような「友好的な・愛想のよい」のように堅くて弱い意味ではなく、*behaving toward someone in a way that shows you like them and are ready to talk to them or help them; behaving in a kind and pleasant way because you like someone or want to help them* (相手のことが好きでお話したい、助けになりたいので親切に振舞い、非常に感じがいい) で、「親友のように優しくしてくれる」に近い語です。同様に **polite** も英和辞典にあるような「丁寧な、礼儀正しい」といった堅くて弱い意味ではなく、*behaving or speaking in a way that is correct for the social situation you are in, and showing that you are respectful and considerate to other people's needs and feelings* (状況に応じた振舞いができ、相手を立てて、相手の気持ちや願望に対して思いやりがある) で、「礼儀正しく、丁寧に相手をもてなす」に近い語です。

また、**interesting** の意味は、一般の英和辞典「興味深い」「興味がある」といった弱い意味ではなく、*it seems unusual* (まれな、珍しい) or *exciting* (ものすごくしたい、早くやりたい) or *provides information you did not know about* (見たことも聞いたこともないので新たな発見がある) なので、「思わず目が行ってしまう、もっと知りたい感覚」です。ですから会話では、口調によっては日本人がよく言う「な

かなかいじゃない、不思議ですね」といった軽いニュアンスになることもありますが、Oh, it's interesting! のように強調すれば、日本語の「うそー、これって何なの？」に近くなります。

tactful は、英和辞典によく見られる「機転の利く、如才ない (= 抜け目がない・愛想がいい)」のような意味とは程遠く、**careful not to say or do anything that will upset or embarrass other people** 「人を怒らせたり、恥ずかしい目をさせるようなことは言わないし、しないように気配りがある」の意味です。「機転の利く (= 物事に応じて機敏に心が働くこと)」に近い英語には、**resourceful** [=good at finding ways of dealing with problems] があります。

同様に **vain** も、英和辞典によく見られる「虚栄心の強い、見栄を張る (= うわべだけを飾り、自分を必要以上によく見せようとする) : **pretentious** や **affected** に近い」という訳とは大分異なり、**having or showing an excessively high opinion of one's appearances, abilities, or worth** という「自分の容姿や能力を過信している状態」です。往々にして、見栄っ張りというのは、他者は自分より優れていると思ひ、自分はまたその基準に見合っていないと思って無理をしてしまう場合が多いので、「自分のことをいいと思ひ過ぎている」という **vain** の意味とはずいぶん違います。

また **proud** は、ほとんどの英和辞典では「誇りに思う・自慢の」となっていますが、ほとんどの英英辞典では、**feel pleased about something good that you possess or have done, or about something good that a person close to you has done.** とあるように、自分が持っているものや自分、あるいは自分に近い者の行動に対して「とてもうれしい心の状態」です。よく親が子どもをほめて、**I'm so proud of you!** と言いますが、それは「よくやってくれいわ！」に近いのです。

この他にも、日本語の「宗教」は、「宗派の教え」と「神仏への信仰」という意味合いがあるのに対して、英語の「**religion**」は「神の崇拝と信仰 (faith)」という意味だけです。よって前者は読んで字のごとく「**teachings**」と信仰の両方を表しているのに対して、後者は「**faith**」のみで、まずは信じることから始まります。日本では、「宗教」と言えば「宗教にはまっている」のように、懐疑的でネガティブなニュアンスで使われることがありますが、**religion** は「信条・信じる道」という意味もあり、必ずいい意味で用いられます。事実、**You must have religion in your life.** のように、キリスト教社会では、**religion** のない人は信用されないとい

ったことが多く、これらの語を和訳を通してその意味を覚えたりすると、文化的な誤解が起こったりします。

また、**education** を「教育」ととらえることも誤解を生みます。その一般的な英和辞典の和訳である「教育」は「教えること、知識を与え個人の能力を伸ばすこと」のように、**教師からの一方的な指導**の意味になっていますが、**education** の英和辞典の定義では“**the process of receiving and giving systematic instruction [the process of teaching and learning], especially at a school or university**” となっていて、「体系的に教えたり学んだりすること」で一方的な指導とは限りません。そこで、一方的な指導という意味合いで「英語教育」という場合は、“**English teaching**” というのがベターです。

同様に **learn** も、その和訳である「学ぶ」は「教えるを受ける、習う、学問をする、経験を通して貴重な知識を得る」のように、「学問の教えるを受ける」という意味合いが強いのに対して、**learn** は、“to gain knowledge of a subject or skill, by experience, by studying it, or by being taught”，つまり「独学であってもいいし、経験から学んでもいい、教わってもいいし」、人から教えるを受けるという意味合いが「学ぶ」より弱く、「有益なスキルや知識を身につける」という成果が重視されています。

また、誤解している用いているケースが多いのが“**treat**”です。この語を、英和辞典の意味を妄信して「治療する」と覚えると、**cure** と混同してしまい誤用する可能性があります。「治療」という日本語はあいまいで、**cure** は「完治させる」のに対して、**treat** は「治療を施す（だけで直ったとは言っていない）」ので使用に注意が必要です。さらに、**relative** を「親戚」ととらえている人がたまにいますが、この語は「親族」の意味で、**両親は一番濃い親族 (relative)** です。これはたまに TOEIC などでもこのことを知らない受験者を狙ったひっかけ問題に使われています。

それから和英辞典の弊害でよく起こっているのが、「鑑賞する」の英訳です。例えば「音楽鑑賞する」を“**appreciate the music**” と機械的にとらえるのは危険で、“**appreciate**” は“**find good qualities in ...**” という意味なので、じっくりと良さを味わいながら聞く場合は OK ですが、単に楽しみのために聞くくらいなら、**enjoy (the) music** で十分です。ちなみに **appreciate** は「感謝する」という意味がありますが、これは何か手伝ってもらったときなどに、「協力が素晴らしくて助かり→感謝する」といった「英単語の意味の広がり」から話者の心理をつかむ必要

があります。

また **“persuade”** は、すべての英和辞典では「説得する」とありますが、両者にはずれがあります。説得するというのは、「納得させて何かを accept させたり、何かを信じさせる」という意味で、アクションへのパワーに欠ける語ですが、persuade は、話し合いの中で反対されても「正当な理由」を述べて、It makes sense. (それは言えてる) と相手に思わせたり、「しつこくお願いする」ことによって、何かをさせたり、何かを決断させて実行させたりするという「結果」に重点が置かれた力強い語彙です。この意味で、「説得する」は、相手を信じさせることに重点が置かれている **“convince”** に近く、「アクションへの誘導」が一番に来る persuade とは意味のずれがあるわけです。同様に、**persuasive** も「説得力がある」というより、「理屈と口の上手さで人に何かをさせたり、信じ込ませる」という意味で、和訳すれば「人を動かす力がある、口の上手い」という表現に近くなります。

sincere も、ある英和辞典にあるような「誠実な、まじめな」でとらえていると、英語では trustworthy, reliable となって誤解します。英英辞典では “honest and says what they really feel or believe” となっていて「裏表のない、正直な、真心こめた」という意味を持つ語です。また、これに自分の言動に一貫性・ポリシーの一貫性があり、前に行ったことと違うことを言わないのは、**“integrity** (和訳の「高潔・無欠」はわかりにくい)” となります。

同様に **modest** と「謙遜した」の間にもニュアンスのずれがあります。「謙遜」は基本的に「卑下して、実際より自分を下目に言う」という意味なので humble に近くなりますが、**modest** は “unwilling to talk proudly about your abilities and achievements”, つまり「自分のことを自慢げに言わない」だけで、自分のことを下目に言う (understatement) 傾向のある日本文化と、上目か正直に述べる西洋文化との違いが表れています。

また **“experience”** と「経験」は、後者が「実際に見たり、聞いたり、行ったりすることと、それによって得た知識やスキル」、前者は、“practical contact with and observation of facts and events” (体験・自分の体で自ら経験すること) であり、さらに knowledge or skill that you gain from doing a job or activity, **or the process of doing this**”, “knowledge that you gain about life and the world by being in different situations and meeting different people, **or the process of gaining this**” となっていて、一見よく似ているように見えます

が、「さまざまな状況を経験し、異なる文化の人と交流することで、人生や世の中について得られる知識とそのプロセス」と、*experience* はより深く、さまざまな経験を通して培われる “*wisdom*” の意味合いを含んでいます。

embarrass も、その日本語訳「当惑させる」がわかりにくくて誤解のもとです。英英辞典 (Longman) では、“to make someone feel ashamed, nervous, or uncomfortable, especially in front of other people / cause someone to feel awkward, self-conscious, or ashamed” で、「**恥ずかしい思いをさせたり不安がらせたりして困らせる**」の意味です。

このように英和辞典の意味を鵜呑みにしていると、正しく運用することができなくなるので、必ず、よく知っていると思っている基本単語も英英辞典でその意味をチェックするようにしましょう。また、英和辞典と英英辞典のギャップは、意味だけでなく、単語の堅さにも表れてきます。例えば、英語でよく使われる *refer to* は英和辞典によく記されているような「言及する」といった文語的な語ではありませんし、*statement* も「陳述」ほど堅くはなく、*approve* と「是認する」もフォーマル度にずれがあります。これに対して、*success* と「成功」、*progress* と「進歩」、*assassinate* と「暗殺する」、*administer* と「投与する」、*extend* と「供与する」、*contribute* と「貢献する」、*supply* と「(薬)を供給する」などは堅さの意味では近いと言えます。

また意味の広さにもギャップが現れてきます。例えば、日本語の「言う」は意味が非常に少ないのに対して、英語の “**say**” は “The clock says three o'clock. (時計は3時を示している)” というように **show** の意味があり、日本語と英語では1対3ぐらいの意味の多さの比率があります。同様に *develop* は「発展する」の約5倍、*contribute*、*provide* はそれぞれ「貢献する」「提供する」の約4倍ぐらいの意味の多さがあります。

基礎力UP編 3

「日本事象」英語発信力強化法はこれだ！

文脈に応じて類語を効果的に使い分ける！

英語発信力UP 必須類語の使い分け10グループ

日本文化を英語で発信する上で「運用語彙力」UPは不可欠です。特に重要なのは、文脈に応じた「類語の使い分け」です。しかし、日本人の語彙力での大きな問題のひとつである、単語の的確な使い分けが、高校卒業までに習う4千語水準ぐらいまでのいわゆる「基本単語・準基本単語」でさえうまくできていません。そこで、このセクションでは、その中で最も重要なグループである「する」「なる」「言う・話す」「与える」「作る」「思う」「含む」「妨げる」「わかる」「変わる・変える」の10カテゴリーの使い分けを会得していただきます。

Group 1 「なる」の類語の使い分けをマスター！

「なる」は become 以外に, get, grow, come, go, turn, reach, fall などを使い分ける！

次の空所に適切な語を下から選び、必要なら正しい形に変えて入れてください。

1. Your bill () ¥1,000. (お勘定は合計が1,000円になります)
2. The sales have () ¥1 million. (売上は100万円になった)
3. My dream has finally () true. (私の夢はついになかった)
4. The autumn leaves () yellow and red. (紅葉が赤や黄色になった)
5. We are going to () a wonderful couple. (私たちはいい夫婦になります)
6. I cannot help () old. (歳には勝てない)
7. He () victim to the crime. (彼はその犯罪の被害者になった)
8. The company () bankrupt recently. (その会社は最近倒産した)

[come / come to / get / go / make / fall / reach / turn]

1. 正答：come to

《**come to** 名詞

は「(数を足して合計が) ~になる」という意味の他にも、「(検討や議論を経て) 結論 [合意・決定] に至る」という意味の **come to a(n) decision [conclusion / agreement]** や「意識が回復する」という意味の **He came to after surgery.** (彼は手術後に意識が戻った) などの表現があります。また, **come to V** は「やがて V するようになる」という表現で, **I came to realize the true meaning of life.** (人生の真の意味を理解するようになった) のように使えます。**get to V** は「~をする機会を得る」という表現で, **I got to meet the famous people.** (有名人と知り合う機会を得た), **learn to V** は「経験や学習を通じて~するようになる」という表現で, **I learnt to speak English.** (英語を話せるようになった) となります。

.....

2. 正答：reached

reach は「(競争やプロセスの中で) ある数値やレベルに達する」という意味の他にも、「結論や同意に至る」という用法の **reach a decision [agreement]** や「目標を達成する」という用法の **reach the goal [target]** などがあります。

.....

3. 正答：come

come は「ある状態に到達する」という意味で, 例題の他にも **come first [second]** (1番 [2番] になる), **The door came open.** (ドアが開いた), **come awake** (目覚める), **come easy** (簡単になる), **come cheap** (安くつく), **Everything will come good [right].** ([長い問題の後で] 全てはうまくいく [好転する]) などの用法があります。

.....

4. 正答：turned

turn は「異なる状態・性質・形・色へと急に変化する, コロっと変わる」という意味があります。**turn warm [cold]** (暖かく [寒く] なる), **turn professional** (プロになる), **The situation turned violent.** (事態は暴徒化した), **Sugars from rice turns into alcohol.** (米の糖分はアルコールになる) などの用法があります。

5. 正答：make

make は「ある仕事に必要な性質を持つ、目的をかなえるような性格を持つ」という意味があり、**He'll make a good tour guide.** なら「立派なツアーガイドになる素質を持っているので、努力すればそうなるだろう」というニュアンスを持ちます。

6. 正答：getting

get は「一時的、表面的に変化する」という意味を持ち、**get angry** (怒る)、**get bored** (退屈する)、**get hot [cold]** (暑く [寒く] なる)、**get better [worse]** (良く [悪く] なる) などの用法があります。この意味に対照的なのが「内面的、永続的になり始めていく」という意味を持つ **become** で **become a doctor** (医者になる) という表現になります。

7. 正答：fell

fall は「突然～の状態に陥る」というネガティブなニュアンスを持つ単語で、**fall ill [sick]** (病気になる)、**fall silent** (急に黙り込む)、**fall asleep** (眠りに落ちる)、**fall unconscious** (意識を失う) といった用法を持ちます。

8. 正答：went

go は「より悪く望ましくない状態へ変わる」ニュアンスを持ち、**go blind** (目が見えなくなる)、**go mad** (気が狂う)、**go bankrupt** (破産する)、**go missing** (行方不明になる) のように使われる一方、**go public** (株式を公開する)、**go international** (国際化する) のような「～化する」という意味の用法もあります。

Group 2

「する」の類語の使い分けをマスター！

「する」は do 以外に, make, give, have, run, take, play などを使い分ける！

次の空所に適切な語を下から選び, 必要なら正しい形に変えて入れてください。

1. I will () it a try. (やってみます！)
2. The government () a plan. (政府は計画を実行した)
3. She () household chores. (彼女は家事をした)
4. We () a welcome party. (歓迎会をした)
5. You () dirty tricks on me! (私をかつごうとしたね！)
6. The company () an ad on TV. (会社はテレビに広告を出した)
7. You () a good choice! (いい選択をしたね！)

[carry out / do / have / give / make / play / run]

「ニヤニヤする」は give a grin,
「キャンペーンをする」は run a campaign,
「鬼ごっこをする」は play tug など,
「する」の代表的なコロケーションの習得は
重要です！



解答&解説

1. 正答：give

give は **give ... a try [shot]** (試しに～する) というという表現の他にも、「助言や指示をする」という用法の **give someone advice [instructions / orders]** ([人に] アドバイス [指示/命令] をする), それから「表情や動作表現で示す」という用法の **give (someone) a smile [grin / look / hug]** (スマイル [ニヤニヤ/一べつ/抱擁] する), さらに「(聴衆に対して) パフォーマンスをする」という用法の **give a speech [lecture / performance]** (スピーチ [講義/パフォーマンス] をする) という3種類があります。

2. 正答：carried out

carry out は、「計画された物事を実施する」という意味の **carry out a plan [research / survey]** (計画 [研究/調査] をする《do, conduct で言い換えられる》), それから「自ら宣言したことや人に頼まれた物事をする」という意味の **carry out one's promise [responsibilities] / sb's instructions** (約束 [責任/指示] を実行する《fulfill で言い換えられる》) の2種類の用法があります。

3. 正答：did

do は、「目的を持って活動・仕事をする」という、**do a job [one's homework]** (仕事 [宿題] をする) や **do one's duty** (義務を果たす) があります。また日常生活の単語と結びついて **do household chores [shopping / the dishes / the laundry / exercise / a movie]** (家事 [買い物/皿洗い/洗濯/運動/映画鑑賞] をする) や、「演じる」という意味の **do Hamlet** (ハムレットを演じる [する]) という表現、格闘技やボールを使わないスポーツでは **do karate [gymnastics]** (空手 [体操] をする) などの用法があります。

4. 正答：had

have は「動作的な行為をする」という用法の、**have a look [walk / talk / sleep / rest]** (見る [歩く/話す/眠る/休む]) や **have lunch [a meal]** (昼食 [食事] をする), それから「計画して会議・催しを開く」という用法の **have a party [ceremony]** (パーティ [儀式] をする) があります。フォーマルな場合には、

hold a party (パーティを開催する) と言います。

5. 正答：**played**

play は「スポーツ・競技をする」という用法の **play sports [baseball]** (スポーツ [野球] をする), それから「(子どもたちによる) ~遊び・ごっこをする」という用法の **play catch [house / tug / doctor]** (キャッチボール [ままごと／鬼ごっこ／お医者さんごっこ]), さらに「演劇などの役をする」用法の **play a role [character]** (役をする) の3種類があります。

6. 正答：**run**

run はコンセプトである「走る, 走らせる」から「出す, 行う, 運営する」の意味になります。「広告 (**ad / advertisement**)」は **run** という動詞が使われますが, 他の動詞を用いた表現として, **The travel company placed an ad in newspapers.** (その旅行会社は新聞に広告を掲載した) や **put an classified ad on the Internet** (インターネットに求人広告を出す) などがあります。また, **run a marathon [race]** (マラソン [レース] をする), **run a side business** (副業をする) や, 「取り仕切る」という意味で, **run a panel discussion** (パネルディスカッションをする), **run a campaign** (キャンペーンをする), **run a experiment [test]** (実験 [テスト] をする), **run a show** (ショーをする) のように幅広く使えます。

7. 正答：**made**

make は「アクションする」というような用法の **make a(n) [trip / call / arrest / appointment / date]** (旅行 [電話／逮捕／予約／会う約束] [を] する), それから「意思決定をしたり, 判断を働かせる」という用法の **make a(n) decision [effort / change / suggestion]** (決定 [努力／変更／提案] する), さらに「取組みの進行や結果を出す」という用法の **make a(n) contribution [progress / mistake / error / start / progress]** (貢献 [進歩／間違い／誤り／開始／進歩] [を] する) の3種類があります。

Group 3 「言う」の類語の使い分けをマスター！

「言う・話す」は say 以外に, talk, speak, tell, give などを使い分ける！

次の空所に適切な語を下から選び, 必要なら正しい形に変えて入れてください。

1. Money (). (金がものをいう)
2. () it to me straight. (はっきりいってください！)
3. Could you () more slowly? (もう少しゆっくり話していただけますか)
4. You can () that again! (まったくそのとおりだ！)
5. Didn't () me what to do! (私に指図しないで！)
6. Let's () the issue. (その問題について話し合しましょう)

[discuss / give / say / speak / talk / tell]

「印象を言う」は give an impression,
「訳のわからないことを言う」は talk nonsense などの
「言う」のコロケーションをマスターしよう！



1. 正答：talks

talk は、“I’m talking to you!” のように「重要な内容のことを言う」場合に使います。また、**talk about weather**（天気を話題にする）や **talk with a friend**（友人と話す）のように、聞き手との距離が近く、「人と会話したり、おしゃべりする」の意味や、**talk to a lawyer [doctor]**（弁護士 [医者] に相談する）や **talk business [politics]**（仕事 [政治] の話をする）などのように「真剣に内容を共有して話し合う」といった意味もあります。他の用法には、「説得する」という意味で使われる **He talked me into [out of] buying a house.**（彼は説得して私に家を買わせた [買うのをやめさせた]）、さらに重要な表現として、**Money talks.**（金がものを言う）や **talk nonsense**（訳のわからないことをしゃべりだす）などがあります。

2. 正答：Give

give は「与える」というイメージがありますが、**say** よりもさらに幅広く、「言葉を発する・口頭で伝える」というニュアンスを持ち、口語では「言う」という意味の用法では一番よく使われている単語になります。例えば、**Give it to me straight.**（はっきり言ってよ）、**Please give me your impression of Japanese towns.**（日本の町の印象を教えてください）、**give someone advice [instructions / orders]**（[人に] アドバイス [指示, 命令] を言う）や **give him No**（彼に No という）や **give a cry for help**（助けを求めて叫び声を上げる）などがあります。

3. 正答：speak

speak は「口から言葉や音声を出す」が基本的な意味で、**speak loud [softly]**（大声 [小声] で話す）や **speak English**（英語を話す）という用法、さらにスピーチのように一方的に話すというニュアンスが強くなり、**speak at the conference**（会議で演説する）や **speak to the audience**（聴衆に話しかける）という用法の 2 種類があります。また、**talk to the audience** も一方的に話しますが、必ずスピーチの後で話し合いをする前提があります。

4. 正答：say

say は、**say thank you[good-bye]** (ありがとう [さようなら] と言う) という表現のように「アイデア・感情・考えなどの内容のあることを言葉で示す」という意味を持ちます。また、“**Don’t be sad,**” **she said to herself.** (「悲しんではいけない」と彼女は自分に言い聞かせた) のように必ずしも聞き手がいるとは限らない場合にも使われます。さらに、**I said, “He won the game.”** (「彼は試合に勝った」と私は言った) のように会話の引用にも使われます。他の用法にも、**The newspaper says that he received an award.** (新聞によると彼は受賞したそうだ) や **The clock says twelve o’clock.** (時計は12時を示している) のように「書いてある、示している」などがあります。

5. 正答：tell

tell は「特定の相手に中身のある情報や話や気持ちを伝える」という用法の **tell someone a story [lie]** (話 [うそ] を言う) や **tell the fact [secret]** (事実 [秘密] を言う) などの用法があります。それから「～する [しない] ように言う」という命令や助言する **The guide told the tour group not to get off the bus.** (ガイドはそのツアーの集団にバスから降りないように言った) という用法があります。他の意味の用法には **Time will tell.** (時間が経てばわかる) や **The stress will tell on our health.** (ストレスは体にこたえる) などがあります。

6. 正答：discuss

discuss は、**talk about** の堅い単語で「論じる、意見交換や意思決定のために2人からグループ間で話し合う」という意味の単語で、結びつきやすいのは「問題系」の名詞の **discuss the issue [problem]** (問題について論じる、話し合う《with ~》)、それから「トピック系」の名詞を伴い、**discuss the topic [subject / idea]** (トピック [テーマ/アイデア] について論じる、話し合う《with ~》) などがあります。

最重要「間違えやすいコロケーション」に要注意！

- ～に害を与える give damage to (×) → **cause [do] damage to** (○)
- 困難に合う meet difficulties (×) → **have [face] difficulties** (○)
- ～に影響を与える give an effect [influence] on ...
→ **have an effect [influence] on ...** (○)
- 人を説得して～することをやめさせる discourage + 人 + to + V (×)
→ **discourage + 人 + from ...ing** (○)
- 成功を得る get success (×) → **achieve success** (○)
- 環境を守る defend the environment (×)
→ **protect the environment** (○)
- ～の知識を得る get knowledge of ... (×)
→ **acquire [gain] knowledge of ...** (○)

* 影響は **have [make] an impact on / have consequences [implications] for** ... のように動詞や前置詞が変わるので要注意！ また, **affect** 《動詞》と **effect** 《名詞》にも注意！ 「コミュニケーションに影響を与える」は, **affect communication** または, **have an effect on communication** が正しい表現です。

基礎力UP編 8

「日本事象」英語発信力強化法はこれだ！

日本事象発信力UP 語彙クイズにチャレンジ！

それでは今度は、日本事象を英語で何でも説明できるようになるために、クイズにチャレンジしながら分野別に語彙・表現力をUPしていただきましょう。各問題の合格ラインは7割の正答率です。

日本事象発信力UP 語彙クイズにチャレンジ！① 観光編 (1)

以下の日本事象を英語で言ってみましょう。

1. 山鉦巡行 ()
2. お祓い ()
3. 拝殿 ()
4. 参道 ()
5. 山車 ()
6. 無形文化遺産 ()
7. 借景の庭 ()
8. 鳳凰 ()
9. 休日ダイヤ ()
10. 記念写真 ()
11. 賽銭箱 ()
12. 民宿 ()

score:

/ 12



山車



鳳凰

解答

1.	a parade of decorated floats
2.	a Shinto purification ceremony
3.	an oratory / a hall of worship (「本殿」は a main hall)
4.	an approach to the shrine (「寺への参道」なら an approach to the temple)
5.	a festive float (a decorated high-wheeled float のように表現することも)
6.	an intangible cultural heritage (「世界文化遺産」は the World Cultural Heritage)
7.	a borrowed landscape garden
8.	a (mythical) phoenix (bird)
9.	a holiday train schedule
10.	commemorative photos
11.	an offertory box (a donation box ともいう。「賽銭」は money offering)
12.	a family-run Japanese-style inn (「旅館」は a Japanese-style hotel , 「ペンション」は a family-run Western-style inn)

いかがでしたか？ これらが大体楽々英語で言えれば、「日本文化英語発信力」はますますです。それでは次の問題に参りましょう！

第 2 章

「日本事象」 英訳トレーニングに チャレンジ!

Photos in this chapter: Licensed under Public Domain via Wikimedia Commons

実践トレーニング編 1

「日本事象」英訳トレーニングにチャレンジ①

名詞前後の修飾表現のバランスを考えて 日本事象を説明してみよう！

ここでは日本事象を説明するテクニックを会得していただきましょう。まず、核となる「カテゴリ」を決め、それを前と後からバランスをとりながら、修飾語を加えて、特徴（形状・材料、目的など）を説明し、全体の意味を明確にします。修飾パターンには、形容詞、現在分詞、過去分詞、ハイフン表現などを名詞の前に配置する「前置修飾パターン」と、前置詞句、現在分詞、過去分詞、関係詞節を名詞の後に配置する「後置修飾パターン」があります。

「前置修飾」の一般的な順序は以下のようになっています。

◎前置修飾パターン例

意見 → 大小 → 新旧 → 形状 → 色 → 起源 → 材料 + **名詞**
beautiful small old square white Japanese paper boxes
(美しい小さな四角の白い日本製の紙の箱)

こんなに多くの修飾語を名詞の前に一度に置くことは普通ありませんが、目安として上の順序を確認しておいてください。もちろん例外もあり、修飾される名詞と結び付きの強い修飾語は名詞の直前に配置することになっています。

前置修飾は、「箸置き」a chopstick rest、「お好み焼き」a Japanese-style pancake、「神棚」a household Shinto altar（家にある神道の祭壇）など、どれも比較的短く表現したいときに使います。

次に名詞の後ろに、関係詞や分詞、前置詞句、不定詞を置く、「後置修飾」を見てみましょう。

◎後置修飾パターン例

「小豆がトッピングされているケーキ」の表現には、以下の3通りの修飾の仕方があります。

1. a cake that is topped with azuki beans

名詞 + 関係詞

2. a cake topped with azuki beans

名詞 + 過去分詞

3. a cake with azuki beans on

名詞 + 前置詞句

前置修飾と後置修飾のバランスをいかに取るかは、通訳者や翻訳者の腕の見せどころとなります。では、以下の問題にチャレンジしながら、修飾表現をバランスよく配置させた説明の仕方を会得していただきましょう。

ここがポイント!

修飾表現の前後のバランスに要注意!

修飾表現 + カテゴリ + 修飾表現
 XXX + 名詞 + YYY

例題 1

「狛犬」を、修飾表現のバランスに気をつけながら、英語で説明してみましょう。

◎ STEP 1 カテゴリを決める

狛犬は神社（時に寺院）の入り口で鎮座する石の犬の像ですから、カテゴリは、「犬 (dogs)」ですね。

◎ STEP 2 修飾語①「特徴（材料・形状）」を述べる

次に、上で決めたカテゴリに、前後からバランスよく修飾語をつけて説明していきます。まず特徴（材料・形状）の説明です。狛犬は、「石できており」(made of stone)【後置修飾】、必ず左右一対 (a pair of) で置かれている【前置修飾】ので、

a pair of dogs made of stone

と説明できます。また、より正確には、狛犬は「石に彫られた一対の犬」なので、a pair of dogs carved out of stone となりますが、これはワンランク UP の表現です。

◎ STEP 3 修飾語②「目的」を述べる

次に狛犬を置く「目的」は「魔除け」です。ここでの魔除けとは「災い（不幸や邪悪な力）から神社（寺院）を守る (protect a shrine [temple] from [against] evil)」ことなので、不定詞を使う場合は、後ろから修飾し、

a pair of dogs made of stone to protect a shrine [temple] from [against] evil

となります。この「悪霊」は evil が最もよく使われますが、その他に、強調したければ the evil や evil spirits で言い換えることもできます。また from の代わりに against を使うと、悪霊に「対抗する」意味合いが強まります。guard を使って、to guard against evil ということも可能です。「悪霊を追い払うため」to drive

away evil も定番の表現ですので、言えるようにしておきましょう。

「狛犬」の説明バリエーションはこれだ！

a pair of **dogs** made of stone

- ・ to protect a shrine from [against]
- ・ to guard against
- ・ to drive away

目的

・ (the) evil
・ evil spirits

上に紹介したのは、通訳ガイドが現地で説明する、話し言葉的な表現でしたが、パンフレットで使われるような格調高い書き言葉で言い換えてみましょう。素材の部分を **stone-carved** (《形》石で彫られた) とし、目的の部分を、**guardian** (《形》守護する) を使い、**stone-carved guardian dogs** と引き締まった格調高いバージョンができました。さらに、置かれる場所を追加し完成です。

ワンランク UP !

「狛犬」の格調高い説明はこれだ！

a pair of stone-carved guardian **dogs** at shrines and temples

ちなみに、「狛犬」を説明する際に、一回目はこの長い説明訳を、二回目以降は、**Shinto (or temple) guardian dogs** と短い表現を使うと、説明がスムーズに運び、完璧です。長い説明文と簡略版の双方を使えるようにしておきましょう。

例題2

「お守り」を、修飾表現のバランスに気をつけながら、英語で説明してみましょう。

解答&解説

◎ STEP 1 カテゴリ 《前置修飾 + 名詞》

「お守り」とは、「災難を逃れるため身につける」もので、ずばりカテゴリは **charm** です。charm とは「首からぶら下げたり、ブレスレットとして身につけ、幸運を呼ぶもの」なので、ぴったりですが、charm は多義語で、まず「魅力」という意味を思い浮かべるため、クリアにするために **good-luck** を前につけます。

◎ STEP 2 修飾語 特徴（材料・形状）《後置修飾》

お守りは、小さな布袋の中に小さな紙や木、布が入っていますので、

made of a piece of paper, wood, or cloth in a small pouch

となります。今回は後ろから、修飾表現を置きます。

◎ STEP 3 修飾語 特徴（目的）《後置修飾》

お守りの目的は、邪気を寄せ付けないこと（病気、事故・災難などから人々を守ること）なので、**to ward off evils [to protect people from illness, accidents and disasters]** を、一番最後につけます。

「お守り」の説明バリエーションはこれだ！

a ^① **good-luck [lucky]** **charm** ^② **made of a piece of paper, wood, or cloth in a small cloth pouch** ^③ **to ward off evils** [^③ **to protect people from illness, accidents and disasters**]

短いバージョンは、**lucky charm** または **good-luck charm** となります。ちなみに、英語ネイティブなら、**talisman**（魔力があり幸運を運ぶ指輪や石をさす）や **amulet**（邪気や病気などの災いから守る飾りや小さな宝石をさし、日本語の「魔除け」に近い）などといっても OK です。ワンランク UP 表現として、具体的な目的として、**学業成就 (academic success)**、**交通安全 (traffic safety)**、**商売繁盛 (business prosperity)**、**病気平癒 (recovery from illness)**、**安産祈願 (safe child-birth)** などを紹介すると喜ばれるでしょう。

それでは、日本事象英訳トレーニングにチャレンジしていただきましょう。

日本事象英訳トレーニング①

問題 以下の日本事象を英訳してください。

1. カツ丼 2. 柏餅 3. ざるそば

解答&解説

それぞれ下線の語が、核となる「カテゴリ」を表しています。前後の修飾のバランスに気をつけながら、解答を見てください。

1. カツ丼 **a bowl of rice topped with deep-fried pork cutlets**

カツ丼は「丼物」の一種で、丼物とは、丼にライスが入っているものですから、カテゴリは rice です。トッピングが、deep-fried pork cutlets（揚げたポークカツ）ですから、topped with ...（～を上に乗せた）を使って上のように言うことができます。この topped with を使って、ちらし寿司や鉄火丼を英訳してみましょう。

- ちらし寿司 **vinegared rice topped [mixed] with fish, vegetables, and various other ingredients**

- 鉄火丼 **a bowl of rice topped with thinly sliced tuna**

2. 柏餅**an oak leaf-wrapped rice cake containing sweet bean paste**

柏餅とは、**柏の葉で包まれている (oak leaf-wrapped) 餅 (rice cake)** で、中に **sweet bean paste (餡子)** が入っているので、**containing** を使って上のように表現します。このようにハイフンをうまく使うと、引き締まった表現となります。また、前後の修飾を逆さにして、**a sweet bean paste-containing rice cake wrapped in an oak leaf** のように説明することもできます。

このような過去分詞の後置修飾をもう少し練習してみましょう。「年越しそば」と「吟醸酒」の英訳はどうなりますか？

 年越しそば **buckwheat noodles eaten on New Year's Eve**

カテゴリである**麺 (noodles)** の後ろに、**大晦日に食べられる (eaten on New Year's Eve)** を置き、前には、素材である **buckwheat (蕎麦)** を置きます。

 吟醸酒 **quality sake brewed from the finest rice**

カテゴリの **sake (酒)** の後ろには「材料と作り方」**brewed from the finest rice (最高級の米から醸造された)** を、前には「良質の (quality)」という特徴を置きます。

3. ざるそば **cold buckwheat noodles with a dipping sauce**

ざるそばのカテゴリは**麺 (noodles)** で、つゆと一緒に出されますので、後ろに、**with a dipping sauce** と前置詞句を置きます。また、前には、「材料」の蕎麦と、冷たい (cold) 状態で出されるという「特徴」を述べます。

このように、前置詞句を後置するパターンを「おひたし」と「鍋焼きうどん」を例に練習してみましょう。

 おひたし **boiled greens with soy sauce dressing**

おひたしは、**葉野菜 (greens)** がカテゴリです。茹でられた (**boiled**) という「調理方法」を前に置き、**醤油ドレッシング付 (with soy sauce dressing)** という「味付け」を前置詞句で後ろに置いています。

□ 鍋焼きうどん pot-boiled noodles with various ingredients

カテゴリは麺 (noodles) で、鍋で茹でられた (pot-boiled) という「調理方法」を前に置き、「材料」を with various ingredients (さまざまな食材が入った) という前置詞句を後ろに置いて表現しています。

いかがでしたか？ カテゴリの前後に、バランスよく修飾語句を置くテクニックに慣れてきましたか？ 残りの問題に進む前に、よく使う修飾表現をまとめてご紹介しましょう。

前からの修飾は、形状・性質を表す場合が多く、ハイフンを有効に使って引き締めることができます。例えば次のようなものです。

- garlic-flavored soup (ガーリック味のスープ)
- hand-rolled vinegared rice (手巻き寿司)

後から修飾する場合は、関係代名詞、不定詞、分詞などを用いて付け足して行きます。例えば、分詞では次のようなものがあります。

- A stuffed with B..... (Bが詰まったA)
- A mixed with B..... (Bが混ざったA)
- A flavored with B..... (Bの風味をつけたA)
- A seasoned with B..... (Bで味付けをしたA)
- A wrapped in [with] B... (Bで巻いたA)
- A containing B..... (Bを中に含んだA)
- A featuring B..... (Bを特集にしたA)
- A characterized by B... (Bを特徴とするA)
- A caused by B..... (Bによって引き起こされるB)
- A associated with B / A related to B..... (Bに関連したA)
- A described as B..... (Bと描かれているA)
- A covering B..... (BをカバーするA)
- A involving B..... (Bを巻き込んだA)

これらの表現を意識して、次の問題にチャレンジください。

日本事象英訳トレーニング②

問題 以下の日本事象を英訳してください。

4. 炊き込みご飯 5. ちまき 6. きんとん

解答&解説

4. 炊き込みご飯 **seasoned boiled rice mixed with minced vegetables**

seasoned (味付けした), boiled (炊いた) が前から、カテゴリの rice を修飾します。A mixed with B のパターンで引き締められています。minced vegetables (みじん切りの野菜) の他, shredded cabbage (千切りのキャベツ), sliced onions (スライス状の玉ねぎ), finely chopped sardine (細かく刻んだしゃけ) など代表的な切り方も言えるようにしておきましょう。

5. ちまき **a rice dumpling wrapped in [with] a bamboo leaf**

カテゴリは, dumpling (団子) で, 「材料」rice を前に, wrapped in [with] a bamboo leaf (竹の皮で包まれた) という特徴を後ろに置いています。

6. きんとん **mashed sweet potato mixed with sweetened chestnuts**

カテゴリは, sweet potato (さつまいも) で, 前に mashed (つぶした) という調理法を, 後ろに「甘く味付けした栗と混ぜた (mixed with sweetened chestnuts)」という特徴を述べています。

日本事象英訳トレーニング③

問題 以下の日本事象を英訳してください。

7. 手巻き寿司 8. おむすび

解答&解説

7. 手巻き寿司

hand-rolled vinegared rice wrapped with a sheet of laver into a cone

カテゴリは **rice** で、前には「調理法」をハイフン表現 **hand-rolled** (手巻きの)、後ろには「形状」を **wrapped with a sheet of laver into a cone** (1枚の海苔で包んで、円錐形になった) と述べて完成しています。

8. おむすび

a triangular-shaped rice ball, usually wrapped with a sheet of laver

カテゴリは **球体 (ball)**、前には「形状」 **triangular-shaped** (三角形の) をハイフンで、後ろには、シート状の海苔で包まれた (**wrapped with a sheet of laver**) を、またいつもそうとは限らないので “usually” を付けています。より正確な説明をするために、このような **usually, mainly** (主に), **especially** (特に) などをつけて修飾するテクニックを覚えておくとよいでしょう。

最後に、食べ物以外のものについても練習してみましょう。

日本事象英訳トレーニング④

問題 以下の日本事象を英訳してください。

9. 地蔵 10. 帰省ラッシュ

9. 地蔵

a **Buddhist guardian deity of children and travelers**

カテゴリは **guardian deity** (守護神) で、前に **Buddhist** (仏教の) と述べ、後ろには、「守る対象」を **of children and travelers** と前置詞句で述べています。

10. 帰省ラッシュ

the annual year-end-and-summer rush of people to and from their home

この最後はなかなか難しいでしょう。カテゴリは“rush”。誰の rush かというと当然、people の殺到ですから rush of people となります。故郷へ帰る際と、故郷から帰ってくる際の両方に行われるため、to and from their home と前置詞を2つ付けています。また前には、「時期」毎年、年末と夏（お盆）に起こりますので、annual year-end-and summer とハイフンで引き締めて修飾しています。

いかがでしたか？ カテゴリを見極め、修飾語句を前後のバランスをいかにとつて表現するのかを考えてみるのが、なかなか面白いでしょう？ 答えは一つではありませんので、いろいろと自分でも組み合わせを試してみてください。

コラム：観光案内トラブルシューティング ①温泉編

外国人観光客を案内する時に避けて通れないのが、無理なリクエストやトラブルが発生した時の対応です。こういったスキルを鍛えることは、通訳案内士やボランティア通訳者にとって非常に重要です。いくつかのシーン別のハプニングへの対応を見ていきましょう。今回はいろいろとトラブルが起こりやすい温泉編にチャレンジしていただきましょう。

Q：温泉へお連れしたお客様から、大浴場に入ろうとしたら、タトゥーをしているから入れてもらえなかったと、クレームがありました。がっかりしているお客様を前に、ガイドとしてどのように対応したらよいでしょうか？

I would say, “In almost all Japanese hot spring facilities, people with tattoos, including foreigners, are not allowed to enter the **large public bath**. I’ll ask the hotel clerks if **stickers** to cover tattoos are available in this Ryokan. If they are available, you can take a **communal bath**, and if they are not, I’ll ask the hotel clerk if a **family bath** is available for you.”

(私はこう言います。「ほとんどの日本の温泉施設で、タトゥーがある人はたとえ外国人であろうとも、大浴場に入ることができません。係員にタトゥを隠すシールを旅館内で販売しているか聞いています。もし手に入るようでしたら、大浴場にお入りいただくことができますし、販売していない場合は、家族風呂があるか聞いてみます)

温泉地でよく聞かれる質問とは？

関連質問としては、**Why are people with tattoos not allowed to take a communal bath in Japan?** (どうして日本ではタトゥーをしていると大浴場には入れないのですか) と聞かれた場合、

“**It’s because tattoos are associated with gangsters, or yakuzas in Japan.**” (日本ではタトゥーは暴力団、ヤクザと結び付けて考えられているため) といえます。

その他、温泉の入り方についてよく聞かれる質問ですが、**Is it OK to wear a bathing suit when I enter the public hot spring?**（温泉に入るのに水着を着て入ってもよいですか）と聞かれたら、どう答えますか？

“Basically, you are not allowed to wear a bathing suit when you enter the public hot spring in Japan. But there are some exceptions. For those who feel uncomfortable about being naked in public hot springs, there are some hot springs where you can enter a bathtub in a bathing suit. I’ll show you a list of those hot springs.”

（基本的には、日本の温泉に入る際には水着の着用は禁止されています。しかし例外もあり、裸で温泉に入るのが嫌な方のために、水着着用 OK の温泉リストをご紹介します）のように答えるとよいでしょう。

また、**What am I supposed to do before soaking into the hot spring?**（温泉に入る前に何をしたらよいのですか）もよく聞かれる質問です。これに対しては、

“First wash yourself thoroughly with soap and gradually get your body ready for the hot water to prevent strain on your heart. Next, soak up to your waist. When your upper body has warmed up, soak right up to your shoulders.”（まず、石鹸で体をよく洗い、心臓に負担をかけないように、お湯に身体を慣らします。次に腰まで浸かり、上半身が温まったら、肩まで浸かってください）のように答えます。

ちなみに、「温泉での注意点」を聞かれたら、

“Please refrain from washing your body in the bathtub and dipping your towel in the bathwater.”（浴槽の中で体を洗わないでください。また浴槽の湯にタオルをつけないでください）と答えてください。また、温泉にこれから入る観光客へは、

“You should drink water to avoid dehydration.”（脱水症を避けるために水分を摂ってください）と、**“Please refrain from taking a bath when you are heavily drunk.”**（泥酔された方のご入浴はお控えください）という健康面のアドバイスをしましょう。

また、**I have no idea which is the men’s and the women’s section.**（男湯と女湯の区別がわかりません）という質問へは、

“The color of the short curtain hung outside each bath distinguishes the men’s section from the women’s section. Generally, the blue curtain is for men’s baths and the red curtain is for women’s baths.”

(男湯と女湯はのれんの色で区別されています。通常、青色が男湯で赤色が女湯です) と答え、さらに

“Please be careful that they are switched, depending on the time of the day. There are some facilities where these two rooms are switched, depending on the day of the week.” (時間帯によって、男湯と女湯が入れ替わりますから注意してください。曜日によって入れ替わる場所もあります) のように答えましょう。



実践トレーニング編 2

「日本事象」英訳トレーニングにチャレンジ②

詳しいロングバージョンとショートバージョンをマスター!

実践編1で習得した日本事象英訳の技術にさらに磨きをかけていきましょう。ここでは、日本文化語彙を初めて聞く人にもわかるように、長めの英文で丁寧の説明する場合と、2回目の人に短縮版で説明する場合の、2パターンで表現できるようにトレーニングしていきましょう!

日本事象
英訳トレーニング① 「鏡餅」^{かがもち}の英訳にチャレンジ!

「鏡餅」とは「円形で大小2個を重ねた餅で、正月に神棚に置いて^{としがみ}年神 [歳神] 様に供えるもの」で、説明的に正確に英訳すると、“**round (mirror-shaped) rice cakes piled one on another in order of size, which are offered to the Shinto deity of the new year on the household altar at the New Year**” となりますが、かなりの英語力がいらいます。日本語にある「鏡」を強調したい場合は round mirror-shaped となりますが、ない方がわかりやすく無駄がなくなります。in order of ... は「～の順に」という意味で、in order of priority [importance] は「重要度の順に」となります。また、the New Yearの前に、「長い期間」を表す“in”ではなく、「短い期間」を表す“at”をつけると正月の数日間というニュアンスが出てきます。しかしこれは長くて詳しくすぎるのでもう少し detail を省いて、1回目のロングと2回目のショートのバージョンは次のようになります。

1 回目	round rice cakes offered to the Shinto deity at the New Year (新年に神道の神様へ捧げる丸い餅)
2 回目以降	a New Year rice cake offering (新年の餅の捧げもの)



細かい情報を切り捨てて重要な情報をセレクトする!

例によって1回目は、下記の1回目の英語のよ
うに説明的にロングバージョンにします。このと
きの注意点は、手水舎は建物であり、屋根はあり
ますが壁がないので **building** ではなく **structure**
(建造物、建築物) となることです。そして最も説
明が詳しいものは、 **a small Shinto structure with**
a water-filled stone basin and wooden dippers for visitors to purify themselves
by washing their hands and rinsing their mouth ですが、長すぎて覚えられない
ので、1つ目の解答例のようにします。



この他、 **a purification trough** や **a Shinto water abluion pavilion for ceremonial purification** という英語もありますが、前者は「容器」だけになってしまい間違いで、
後者の “**pavilion**” はイベント用のかなり大きなイメージなので、 **a small pavilion** ならまだ言えます。また、 **abluion** が **ceremonial** の意味を含んでいて、
重複して長いわりに何を洗うかわからないのでやめます。そして2回目からは、
“**chozuya**” と言いながら **a purification structure** と簡単に表現します。

1 回目	a small structure for Shinto purification by washing hands and rinsing their mouth (両手を洗い口をすすぐことによって身を清めるための神道の小さな建造物)
2 回目以降	a [Shinto] purification structure (〔神道の〕身を清めるための建造物)



類語の使い分けに要注意!

③ 「^{しめなわ}注連縄」の英訳にチャレンジ!

この英訳の注意点は、まず **Shinto** 特有であること、次に **sacred** なものであること、**rope** だけだとねじれた感じがしないので **rope festoon** がベターです。以上から



1 回目はやや詳しい **a sacred Shinto straw rope festoon** がベターで、2 回目以降は **“shimenawa”** or a sacred Shinto rope で言い表します。そして聞き手が覚えた頃を見計らって、*shimenawa* だけでコミュニケーションを取るようになっていきます。

1 回目	a sacred Shinto straw rope festoon (神聖な神道の縄飾り)
2 回目以降	a sacred Shinto rope (神聖な神道の縄)



日本特有の文化の英語説明に要注意!

④ 「天守閣」の英訳にチャレンジ!

よく **keep** や **castle tower** や **donjon** などが訳語として用いられますが、いきなり **keep** と言っても動詞の **keep** と混同してしまう可能性があるため、コミュニケーション的には、文脈の不確かな 1 回目は、**a main keep** と言うようにしましょう。また頻度的には、



松本城

main keep よりも **castle tower** は数倍、**donjon** は数十倍多く用いられますが、それらは西洋の城の棟を連想させてしまいやすいので、日本の天守閣のイメージを的確に表す **a main keep** がベターです。ちなみに、日本の「城」と英語の **“castle”** にも意味上のギャップがあって要注意です。「城」は堀を含んだ広大な敷地全体を指しますが、“castle” は城の建物そのものだけを表します。

1 回目	a main keep (天守閣)
2 回目以降	a keep (天守閣)



日本語と英語のシンボルの違いに要注意!

実践トレーニング編 3

「日本事象」英訳トレーニングにチャレンジ③

和食マナーを説明するための動作表現力をUP!

世界から注目される和食を楽しみにして来られる訪日客は多いですが、和食のマナーは奥深く、どこまでご紹介してよいか迷われている方も多いと思います。また、動作表現は、日頃から使っていないと、案外言うのが難しいものです。ここでは、日本の代表的な料理を味わう際に最低限知っておきたいマナーを伝える際の「必須動作表現」を、日英クイズにチャレンジしながら、マスターしていただきましょう!

動作表現日英クイズにチャレンジ!

問題1 以下の和食マナーに関する日本語を、英語で言ってみましょう。

「下の箸は動かさず、上の箸を動かして、食べ物をつまみます。」

解答

Pick up the food by moving the upper stick without moving the lower stick.

ここがポイント!

お箸の使い方を紹介する時には、上の箸 (**the upper stick**) と下の箸 (**the lower stick**) に分けて説明していきます。お箸の使い方は、上の文の前段階として、**Hold** the upper stick **with** your **thumb, forefinger and middle finger** just like you hold a pen. **Support** the lower stick **with the base of your thumb and ring finger**. (上の箸を親指、人差し指、中指でペンを持つように持ち、下の箸を親指の付け根と薬指で支えてください) とまず述べておき、次に問題1の文となります。「食べ物をつまむ」は **pick up the food**, 「動かさず」は **without moving ...** を使うと簡単です。

動作表現日英クイズにチャレンジ!

問題2 以下の和食マナーに関する日本語を、英語で言ってみましょう。

「和食をお箸で食べる時は、食べ物を卓上にこぼさないように、お茶碗や汁椀は手で持ち上げてください。」

解答

When you eat Japanese food with chopsticks, **pick up and hold rice bowls and soup bowls in your hand** to prevent the food from dropping on the table.

ここがポイント!

食事の際に持ち上げる器と、持ち上げてはいけない器 (The dishes you can or cannot pick up) があるという、基本的な器のマナーに関する説明ですが、pick up (持ち上げる) と hold ... in your hand(s) ([両]手に持つ) はさまざまな説明で使える必須表現です。「茶碗を持ち上げる」は **pick up rice bowls**, 「汁椀を手を持つ」は **hold soup bowls in your hand**, 「食べ物を卓上にこぼさないように」は prevent を使って、prevent the food from dropping on the table となります。

ちなみに、器のマナーでは、おひたし (**boiled greens in bonito-flavored soy sauce**) のような汁気のあるもの (**juicy dishes**) は、器を口元に近づけていただき (**bring the ware close to your mouth when you eat them**), 大きな皿や器は食卓に置いたまま (**keep large plates and bowls on the table**) いただくのが基本です。



動作表現で基本動詞をマスターすること!



動作表現日英クイズにチャレンジ！

問題3 以下の和食マナーに関する日本語を、英語で言ってみましょう。
「寿司を左側に倒し、箸または親指、人差し指、中指でつかみます。」

解答

Turn the *sushi* to the left, and hold it with your chopsticks, or with your thumb, forefinger and middle finger.

ここがポイント！

寿司の基本的な食べ方を説明します。「寿司を左側に倒す」は **turn the *sushi* to the left**, 「箸で～をつかむ」は **hold ... with your chopsticks** を使います。親指、人差し指、中指 (thumb, forefinger and middle finger) などもすらすらと言えるようにしておきましょう。

動作表現日英クイズにチャレンジ！

問題4 以下の和食マナーに関する日本語を、英語で言ってみましょう。
「醤油の中にネタの魚だけをつけます。余分な醤油を切るために寿司を振ってはいけません。」

解答

Dip only the *neta*, or fish topping, in soy sauce. Never shake the *sushi* to remove extra soy sauce.

ここがポイント！

握り寿司を食べる時の醤油のつけ方のマナーを説明します。**dip A in B** (AをBに漬ける) は必須動作表現で、「ネタを醤油に漬ける」は **dip the fish topping in soy sauce**, 「蕎麦を冷たい甘味と塩気のあるつけ汁に漬ける」なら **dip buckwheat noodles in a cold, sweet and salty sauce** となります。「余分なしょうゆを切る」は **remove extra soy sauce** となります。

問題5 以下の和食マナーに関する日本語を、英語で言ってみましょう。

「生の海鮮が載ったちらし寿司を食べる時、小皿に醤油を入れて、食べる直前にネタをつけて食べます。ネタに醤油を上からかけたりしてはいけません。」

解答

When you eat *chirashi-zushi* with raw seafood on top, **put soy sauce in a small plate**, and dip the *neta* in it just before you eat. Don't **pour soy sauce over the toppings**.

ここがポイント!

ちらし寿司をいただく時の醤油のつけ方の説明です。ちらし寿司の「ネタ」は the toppings と表現します。pour A over the toppings (トッピングの上からAを注ぐ) は重要な動作表現で、「ネタの上から醤油をかける」なら pour soy sauce over the toppings, 「お好み焼きを作るには、トッピングの上から小麦粉を混ぜ合わせたものをかける」は pour the flour mixture over the toppings to make a Japanese pancake となります。その他, put A in B (AをBに入れる) を用いて、「醤油を小皿に入れる」は put soy sauce in a small plate となります。with A on top (Aが上に載った) は必須表現で、「生の海鮮が載った」は, with raw seafood on top となります。



nigiri-zushi



chirashi-zushi

実践トレーニング編 4

「日本事象」英訳トレーニングにチャレンジ④

外国人から絶対聞かれる 日本に関するQ&Aで表現力UP!

ここでは、訪日客からよく聞かれる日本の文化・習慣・歴史などに関する質問について、うまく答えられるトレーニングをしましょう。ガイドが現地で説明する場合の口語調の英語（spoken English）と、それをパンフレットなどで紹介する格調高い書き言葉の英語（written English）の2パターンでどのように言い回しや構文などが変わるのかも考えながら、読み進めると同時に、表現力と、各トピックの背景知識力もUPさせていきましょう！

外国人から絶対聞かれる日本に関するQ&A

Rank 1

Why do so many Japanese wear masks?

（日本人はなぜマスクをするのですか）

これはよく聞かれる重要トピックです。まずは、会話調の spoken English で説明にチャレンジしてみてください。

Spoken English

Firstly, more and more Japanese people suffer from **hay fever** these days. They put on a mask to prevent **pollens** from coming into their nose and mouth. Secondly, Japanese people care much about preventing **infections** by keeping themselves clean. They put on a mask to avoid catching or spreading a cold or other **infectious diseases**. Thirdly, many Japanese women want to save the trouble of wearing makeup. In Japan, it is considered **normal** for adult women to wear makeup. It is convenient for them to avoid wearing makeup by wearing a mask. (93 words)

(まず、日本人に花粉症患者が最近増えてきたからです。花粉が鼻や口に入らないようにマスクを着けるのです。次に、日本人は、自分自身を清潔に保つことで感染を防ぐことにとっても気を配るからです。彼らは風邪などの感染症を予防したり、他人に移さないようにマスクをします。3つ目に、多くの日本人女性は、メイクをする手間を省きたいと思っています。日本では、成人女性はメイクをすることが普通であるとみなされています。マスクをすることによってメイクをするのを避けることは彼女たちにとって都合がいいのです。)

words & phrases

- hay fever** (花粉症) **pollen** (花粉) **infections** (感染)
 infectious diseases (感染症)

いかがでしたか？ 健康上の理由以外の説明もできたでしょうか。それでは今度は格調高い「書き言葉」で試してみてください。

格調高い Written English へ ワンランク UP!

Written English

There are three main reasons for this phenomenon. Firstly, an increasing number of Japanese people suffer from hay fever these days. They put on a mask to avoid **inhaling allergens** such as **pollens and dust**. Secondly, Japanese people are **hygiene-conscious** enough to put on a mask to avoid catching or spreading infectious diseases. Thirdly, many Japanese women want to save the trouble of wearing makeup, which is considered the norm in Japanese society. (74 words)

(この現象には主に3つの理由があります。まず日本人に花粉症患者が最近増えてきたからです。アレルギーである花粉やちりを吸い込まないようにマスクを着けるのです。次に日本人は衛生意識が高く、感染症を予防したり、他人に移さないようにマスクをします。3つ目に、多くの日本人女性は、メイクをする手間を省きたいと思っています。日本社会ではメイクをすることが標準的であるとみなされているのです。)

words & phrases

- inhale allergens** (アレルギーの原因となる物質を吸い込む)
 pollen and dust (花粉やちり) **hygiene-conscious** (衛生意識の高い)

会話調・文章調のここがポイント！

日本人がなぜマスクをするのか英語で説明するときは、歴史的背景について述べるとわかりやすくなります。まず、健康のために第一なので、花粉症患者が増えたこと、そして感染症にかかったりうつしたりしないようにする、という理由を述べます。もし、1918年～1920年に蔓延したスペイン風邪 (**the Spanish influenza**) がきっかけだったという情報を知っていれば、それを付け加えるとパーフェクトです。「話し言葉」では、**to prevent pollens from coming into their nose and mouth** となっており、「書き言葉」では **to avoid inhaling allergens such as pollens and dust** となっています。**coming into their nose and mouth** (鼻や口から入る) を **inhale** (～を吸い込む) と一言で表現することで、語数を減らしながらも **allergens** と **dust** という新たな情報を加えているのに気付かれましたでしょうか。また、話し言葉では “**care much about preventing infections by keeping themselves clean**” (自分自身を清潔に保つことで感染を防ぐことにとっても気を配る) となっていますが、書き言葉では、**“hygiene-conscious enough to”** (～するほど衛生意識が高い) と引き締まった表現になっています。

次に、“**save the trouble of wearing makeup**” (メイクをする手間を省く) ことについて説明しています。書き言葉では、**makeup** の後にシンプルに、**which** を使ってつなげ、1文で表しています。話し言葉の最後の “**It is convenient ...**” の文は、**save the trouble** で **convenient** なことはわかるので、省略してもかまいません。

これらの必須表現は、引き締まった英文が作れるように是非マスターしましょう！

「例」を表す表現をマスターして英語発信力UP!

A like [such as] B / A including B / A, especially B

「BのようなA」は、**A like B**, **A such as B**で表現できますが、**street food like Takoyaki** (たこ焼きのような路上で売られる食べ物), **ingredients such as flour and shredded cabbage** (小麦粉やキャベツの千切りのような材料) のように使います。また、「BをはじめとするA」は**A including B**で表現できますが、**Japanese culture including the tea ceremony** (茶の湯をはじめとする日本文化) のように使います。この他、**A, especially B**は「AとりわけB」で、**automobiles, especially passenger cars** (自動車, とりわけ乗用車) のように使うので、それらをどんどん覚えて表現力をUPしましょう。

conscious の色々な用法をマスターして英語発信力UP!

conscious はコンセプトが「(秘密などを) 分かち合っている; 強く意識している」なので、そこから「意識して、気付いて、意識があって、意識的な、～の意識の強い」などの意味が生まれてきます。そして、**be conscious of my presence** (私がいることに気付いている), **become conscious** (正気づく), **a conscious effort** (意識的な努力), **a class-conscious society** (階級意識のある社会), **fashion-conscious** (流行に敏感な) のように幅広く使えます。

「みなされる」を表す表現をマスターして英語発信力UP!

「みなされる」を表す表現には、**be considered (to be) ...**, **be regarded [viewed, deemed] as ...**, **be believed to do** (～すると信じられている), **be generally believed to be ...** (一般的に～と信じられている) などがあります。**be considered as a token of gratitude** (感謝の印とみなされる), **be believed to be the guardian deities** (守護神だと信じられている) のように使えますので、覚えておきましょう。

◎ マスクの背景知識はこれだ！

日本のマスクの歴史は大正時代にさかのぼります。当初、「工場マスク」という工場内で使われた**粉塵よけマスク (dust masks)** がありました。これは工場用だったため一般には普及しませんでした。1918～1920 (大正7～9) 年に大流行した**スペイン風邪 (the Spanish influenza)** の**パンデミック (pandemic = 感染症の世界的大流行)** がきっかけでマスクが注目され、日本人が感染症予防のためにマスクを使うようになりました。当時のポスターには「**マスクかけぬ命知らず (No mask will cost you your life.)**」という標語とマスクを着けた着物姿の人や家どうがいをしてしている人が描かれており、**衛生意識が高かった (hygiene-conscious)** ことがわかります。

その後、インフルエンザなどが流行する度に、また花粉症患者が増加することにマスクの生産量は増え、改良が重ねられていきました。1990年代には**使い捨てのフィルターマスク (disposable filter masks)** が販売されるようになり、年々その機能が向上しました。高機能マスクは、**静電気を帯びた不織布 (static electricity-charged nonwoven fabric)** を使用することにより、ウイルスや花粉などが体内に侵入するのを防ぎます。さらに、**ノーズフィッター (nose fitter)** を真ん中で折ったものを鼻の形に合わせて着用します。このようにして、**ウイルス、埃、花粉に対して完全防備 (total protection against viruses, dust, and pollens)** が可能となります。

また、感染症予防以外にもマスク着用の理由があります。マスクは**化粧の手間を省き (save the trouble of wearing makeup)**、**他人とのコミュニケーションを避ける (avoid social interactions)** ことができます。つまり、顔の一部を隠すことで周囲と自分を遮断することにより、**心理的優位性 (psychological advantage)** を持つことができます。

日本人のマスク姿は、**欧米人の目には少し異様に映る (strike Westerners as weird)** ようです。欧米では花粉症のセルフケアとしても日常生活でのマスク使用は極めて少なく、主に**医療用マスク (surgical masks)** や清掃用マスクとして着用する以外には、**重症な感染者 (heavily virus-infected patients)** が**飛沫飛散 (airborne droplet dispersal)** による他人への**感染防止 (infection prevention)** のためだけに着用しているからです。

元々、日常生活でマスク着用には抵抗がないのは日本をはじめとするアジア諸国 (特に東南アジアや東アジアの都市) です。特に、大気汚染が深刻な中国都市部などでは、PM2.5 対応の高機能マスクの人気が高まっています。また、**排ガス (exhaust gas)** 対策として、オートバイに乗る際に着用する地域もあります。乾燥地域や公害のある地域は防塵マスク、寒冷地では**防寒マスク (thermal masks)** など、さまざまな機能を持ったマスクが使用されています。

世界のマスク使用者は、2019年に発生した**新型コロナウイルス肺炎 (COVID-19 / the Novel Coronavirus pneumonia)** のパンデミックにより、増加しました。その影響による**使い捨てマスクの品薄 (a shortage of supply)** により、何度も洗って使える**布マスク (cloth masks)** が多く使われるようになりました。

Rank 2

Why are Japanese people less self-assertive?

(なぜ日本人はあまり自己主張しないのですか)

これもよく話題になる重要トピックです。まずは、会話調の spoken English で説明にチャレンジしてみてください。

Spoken English

Japanese people think that modesty and group harmony are important. So most people don't like **self-assertive** people, saying the proverb, "**The nail that sticks out gets hammered down.**" Most people criticize people who always behave or speak confidently as **self-centered show-offs**. That's why many Japanese try to behave modestly and quietly. (51 words)

(日本人は、控えめであることと集団の調和が重要であると考えています。そのため、ほとんどの人は自己主張が強い人に否定的で、「出る杭は打たれる」ということわざを言います。常に自信満々にふるまったり話したりする人々は、自己中心的な目立ちたがり屋であるとして、ほとんどの人たちが批判します。そういうわけで多くの日本人は、控えめに静かにふるまうようにするのです。)

words & phrases

- self-assertive** (自己主張が強い、我 [押し] の強い)
- The nail that sticks out gets hammered down.** (出る杭は打たれる)
- self-centered show-offs** (自己中心的な目立ちたがり屋)

いかがでしたか？ 人の性格をどう表現するかで適切な表現が思いついたでしょうか。それでは今度は格調高い「書き言葉」で尝试してみてください。

格調高い **Written English** へ
ワンランク UP!

Written English

Since modesty is considered to be a virtue in Japan, **self-assertiveness** is often **frowned upon** by most people. Since Japanese people place high value on group harmony, the following proverb applies to Japanese society: “The nail that sticks out gets hammered down.” In Japan, people who always assert themselves strongly and show off their status and knowledge tend to be criticized as **self-centered attention seekers**. That is why many Japanese try to **efface themselves** by making **self-deprecating comments**. (79 words)

(日本では、控えめであることが美德と考えられているため、自己主張が強いことはしばしば、ほとんどの人に難色を示されてしまいます。日本人は集団の調和を重視するので、「出る杭は打たれる」ということわざが日本社会に当てはまります。日本では、常に自分を強く主張したり、地位や知識をひけらかしたりする人々は、自己中心的な目立ちたがり屋であるとして批判される傾向があります。そういうわけで多くの日本人は、自虐的なコメントをすることによって目立たないようにするのです。)

words & phrases

- self-assertiveness** (自己主張が強いこと) **be frowned upon** (ひんしゅくを買う)
- self-centered attention seekers** (自己中心的な目立ちたがり屋)
- efface oneself** (目立たないように努める)
- self-deprecating comments** (自虐的なコメント)

会話調・文章調のここがポイント!

日本人の性格を英語で説明するときは、まず、**modesty** と **group harmony** が重要であることを述べるとわかりやすくなります。そして、**self-assertive** (自己主張が強い) な人々は “**be frowned upon**” (ひんしゅくを買う) ということを述べます。平たく言えば、“**don’t like ...** (～を嫌う)”, “**shy away from ...** (～するのを嫌がる)”, “**most people are negative about ...**” (ほとんどの人々は～に対して否定的である) と表現することができます。

次に、「『出る杭は打たれる』ということわざが日本社会に当てはまる」と説明します。「～に当てはまる」は、**apply to ...** で表すことができます。また、**show off ...** (～をひけらかす) は、**a show-off** と名詞の形にすると「目立ちたがり屋」となり、**an attention seeker** と同じような意味になります。**show off** は、“**Really talented people don’t show off.**” (能ある鷹は爪を隠す) のように使えます。

最後に、「目立たないようにする」を表すには、堅めの英語では、**efface themselves**（人目につかないようにする）や、**make self-deprecating comments**（自虐的なコメントをする）で表すことができます。もう少し平たく言えば、**behave modestly and quietly**（控えめに静かにふるまう）で表現することができます。これらは英語で日本人の事を説明するための必須表現なので、是非運用できるようにマスターしましょう！

「～に当てはまる」を表す表現をマスターして英語発信力 UP !

apply to ... / be true of ... / can be said about ...

「～に当てはまる」は、**apply to ...** で表現できます。例えば、“This does not **apply to beginners.**”（これは初心者には当てはまらない）のように使います。「…に当てはまる」は、他に **be true of ...** でも表現できます。例えば、“The same **is true of you.**”（同じことがあなたにも当てはまる）のように使います。また、**can be said about ...** は “The same thing **can be said about women.**”（同じことが女性にも言える）のように使えます。これらの表現をどんどん覚えて表現力を UP しましょう。

self- の色々な用法をマスターして英語発信力 UP !

self-には「自己、自分を、自動的な」の意味があります。self-（自分の）を含む単語には、**self-assertive**（自己主張の強い）（対義語は **self-effacing / reserved**）, **self-centered**（自己中心の）, **selfish**（利己的な）, **self-deprecating**（自虐的な）, **self-serving**（利己的な）などがあります。また、類語として、**egocentric**（自己中心の）があります。

「探す、探す人」を表す表現をマスターして英語発信力 UP !

「探す、探す人」を表す表現には、**seek** を含む表現としては、**an attention seeker**（目立ちたがり屋）の他に、**a job seeker**（求職者）, **a status seeker**（立身出世主義者）などがあります。この他、**self-seeking**（《名》利己主義；《形》利己主義な）のような表現もあります。また、**an asylum seeker**（亡命者）, **a pleasure seeker**（遊び人）のような表現も覚えておきましょう。

◎日本人の自己主張に関する背景知識はこれだ！

日本人は一般的に、子どもの頃から、集団生活の中で**従順さ**と**協調性 (obedience and conformity)**を教育されており、先生や上司の言うことを聞くように教えられています。そのため、**控えめ (modest)**で**自分を抑え (unassertive)**、**自己表現が苦手な (reserved)**人が多いのです。

控えめであることを美德とする日本語のことわざに、「能ある鷹は爪を隠す」がありますが、英語では**“Really talented people don’t show off.”**といいます。他にも、**“Who knows most speaks least.”** (最も知るものが最も語らない)、**“Still waters run deep.”** (静かな川の水は深く流れる) などがあります。このことから、英語圏においても控えめであることは必ずしも悪いこととは考えられていないことがわかります。ちなみに、「出る杭は打たれる」という英語のことわざは、**“The nail that sticks out gets hammered down.”**といいます。これに対して、松下幸之助氏の名言に、「出る杭は打たれるが、出すぎた杭は打たれない。」があります。

日本人の控えめな国民性の**長所 (strengths)**は、**粘り強さ (perseverance)**、**勤勉さ (diligence)**です。しかし問題点は、公私両面にわたって自分の気持ちをうまく伝えられず、ストレスから**精神疾患 (mental disorder)**に陥りがちであることが挙げられます。こういった中、最近では企業や学校でも、他人への配慮をしつつ、はっきりと自分の要求を伝えるという「**自己主張訓練 (assertiveness training)**」が導入されています。

●欧米でのスピーチトレーニング教育

北米やオーストラリアでは、家庭でも学校でも**自分の意見を述べるように教育されています (trained to express one’s opinions)**。クラスでは**積極的に質問し (actively ask questions)**、グループワークでは誰でも代表としてうまく**発表 (make an effective presentation)**ができます。こういった背景にあるのは、子ども達が、小学校低学年の授業の中で、「**ショー・アンド・テル (show and tell)**」という人前で話す**トレーニング (assertiveness training)**を受けているという事実です。この授業では、子ども達がそれぞれ好きな物事についてスピーチをします。また、聞き手もスピーチに対するコメントをします。そのため、大人になっても堂々と**自分の意見を述べる (confidently express one’s ideas and opinions)**ことができるようになります。

近年、日本の教育現場でも、**反転授業 (flipped classroom / flip teaching)**、**ラーニング・バイ・ティーチング (learning by teaching)**、**グループワーク (group work)**など、**アクティブラーニング (active learning)**を取り入れる学校が増えており、生徒が積極的に話す機会が増える傾向にあります。

- ・ **反転授業**…従来型授業と反対に、生徒はビデオ授業で予習し、教室では学び合いを行う。
- ・ **ラーニング・バイ・ティーチング**…生徒は教材を学習し、授業の準備をし、他の生徒に教える。教えることにより知識が定着し、人前で話す訓練にもなる。

Rank 3

Why do Japanese often say “Sumimasen,” which literally means “I’m sorry”?

(なぜ日本人はすぐに「すみません」と言うのですか)

これもよく話題になる重要トピックです。まずは、会話調の spoken English で説明にチャレンジしてみてください。

Spoken English

Firstly, the word “Sumimasen” has several meanings. It means “Thank you so much”, “Excuse me”, and “I’m sorry”. When Japanese say “Sumimasen” to **show their thanks**, they mean “I owe you a lot, but I am sorry I can’t return your kindness.” Secondly, Japanese people try to create harmonious relationships by using **humble expressions in the group-oriented society**. (73 words)

(まず、「すみません」という言葉にはいくつかの意味があります。「ありがとうございます」「失礼します」「ごめんなさい」という意味があります。日本人が感謝を伝えるときに「すみません」と言いますが、これは「おかげさまでありがとうございます。でもあなたの親切にお返しができなくてごめんなさい。」という意味なのです。2つ目の理由としては、日本人は集団意識の高い社会で謙虚な表現を使うことによって、調和のとれた関係を作ろうとするのです。)

words & phrases

- **show one’s thanks** (感謝の気持ちを表す)
- **humble expressions** (謙虚な表現)
- **the group-oriented society** (集団意識の高い社会)

いかがでしたか？ なぜ「すみません」で感謝を表すのかをうまく説明できたでしょうか。それでは今度は格調高い「書き言葉」で尝试してみてください。

格調高い Written English へ
ワンランク UP!

Written English

Firstly, this custom **originates from a strong sense of obligation** among Japanese people. “*Sumimasen*” is a **polysemic** word with several meanings, “Thank you so much”, “Excuse me”, and “I apologize”. When Japanese people try to **express their gratitude**, they often say “*Sumimasen*”, which means “I am so grateful, but I am sorry I can’t **reciprocate your kindness**.” Secondly, Japanese people believe that a **humble attitude** shown by “*Sumimasen*” will create **congenial relationships** with other people in the group-oriented society. (90 words)

(まず、この習慣は日本人が恩義をととても大切にしていることからきています。「すみません」は多義語で、「ありがとうございます」「失礼します」「申し訳ございません」という意味があります。日本人は感謝を示そうとする時、「すみません」と言いますが、これは「本当にありがとうございます。しかしあなたの親切に対してお返しができなくてごめんなさい。」という意味なのです。2つ目の理由として、日本人は「すみません」で表現される謙虚な態度が集団意識の高い社会で他人との良好な関係を築くと考えています。)

words & phrases

- originate from ...** (～からきている, ～が起源である)
- a sense of obligation** (恩義) **polysemic** (多義の)
- express one’s gratitude** (感謝の気持ちを示す)
- reciprocate your kindness** (あなたの親切に対しお返しをする)
- a humble attitude** (謙虚な態度)
- congenial relationships** (良好な関係, 気心の知れた間柄)

会話調・文章調のここがポイント!

日本人が感謝を述べるのになぜ「すみません」と言うのかを英語で説明するときには、まず、日本人が**恩義を大切にしている (a strong sense of obligation)** ことを説明するとわかりやすくなります。「書き言葉」では「すみません」は“**a polysemic expression**” (多義表現) であると説明を加えています。

次に、「感謝する」を表す表現がいくつかあります。**express one’s gratitude** (感謝を伝える), **be grateful to ... 《人》 for ~ 《事》** (～に…のことで感謝する), **thank ... 《人》** (～に感謝する), **appreciate ... 《事》** (～に対して感謝する) などが使えるようにしておきましょう。

最後に、「お返しする (**give back, return**)」を表すには、堅めの英語では、

“reciprocate”で表すことができます。また、「上手く調和した関係 (harmonious relationships)」は、書き言葉では、“congenial”で表現することができます。これらの必須表現を、是非運用できるようにマスターしましょう!

「感謝」を表す表現をマスターして英語発信力 UP!

**express appreciation for ... / in appreciation of ... /
as a token of gratitude**

“express appreciation for ...”は丁寧に感謝の気持ちを伝える表現で，“I would like to **express my sincere appreciation for** your continued support.”(変わらぬご愛顧に対し感謝を申し上げます)のように使えます。他に“**in appreciation of ...**”(～に対する感謝を込めて)，“**as a token of one's gratitude**”(感謝の印として)，“**owe ... 《人》 many thanks [a lot]**”(～にとっても感謝している)も重要表現なので、覚えておきましょう。

obligation の色々な用法をマスターして英語発信力 UP!

obligation はコンセプトが「しぼりつける (= to bind)」で、そこから「義務感(お返しする気持ち)、義務、義理、恩義、おかげ、債務、債券」などの意味が生まれてきます。そして、**moral obligation** (義理、道義的責任)、**fulfill [meet] one's obligation** (義務を果たす)、**be under an obligation to a person** (人に義理がある、人に恩を受けている)、**confidentiality obligation** (守秘義務) のような表現もあります。

「調和」を表す表現をマスターして英語発信力 UP!

「調和」を表す表現には、**create congenial relationships** (うまく調和した関係を作る)、**in a congenial [friendly, welcoming] atmosphere** (温かい雰囲気)、**in [out of] harmony with ...** (～と調和して [しないで]) などがあります。この他、**a harmonious arrangement of colors** (調和のとれた配色)、**The building harmonizes with its surroundings.** (その建物は周囲と調和している) という表現も覚えておきましょう。

◎ 日本の配慮表現に関する背景知識はこれだ！

他人に配慮した言葉の選択 (**choice of words**) は、日本社会において非常に重要です。そのため、さまざまな「配慮表現 (**expressions of consideration**)」が存在します。

「すみません」も配慮表現の1つであり、他には「お疲れ様です (主に同僚や目下の者を気遣う時や、共同作業が終わった時、また仕事中や退勤時の挨拶として)」「ご苦労様 (目下の者を気遣う時)」「お世話になっております (電話やメールでの挨拶として)」「お陰様で (相手または漠然としたものに対する感謝)」「考えておきます (即答できない時または断る時)」などがあります。それぞれの使われ方には年代や地域、**社風 (corporate culture)** など多少の差があったり、元来の使われ方とは変わっていることもありますが、廃れることなく使われ続けています。

● 「考えておきます」の意味は？

日本人が「考えておきます」と言う時、**文字どおり (literally)** 考えておく場合と、**やんわり断る (politely decline)** 場合があります。これに対して、英語でも後者は **I'll see what can do.** となり、**"I'll think over [reflect on] the matter."** (その件につきましては検討させていただきます) という、文字どおり検討するという意味になります。そのため、英文メールでは誤解が生じないように具体的に「○○について検討したいので、○日までにご連絡します。」など書くのが通例です。

● 「すみません」の意味は？

「すみません」はもともとあまり品のよくない言葉 (**impolite word**) として存在し、目下の者に対して使われていましたが、戦後になって感謝の意を表すように変化したと言われています。漢字で書くと「済みません」、つまり「このままでは気が済みません」という意味から、謝罪の意味を表す表現として使われるようになりました。ただし、「すみません」は**口語表現 (colloquial expression)** なので、書き言葉での敬語表現としては「申し訳ございません」が正式です。

● 他動詞 (transitive verb) ではなく自動詞 (intransitive verb) を用いて自責的に表現 (self-reproach) した「配慮表現」とは？

日本人は謝罪する時に、自責的に表現することがよくあります。例えば「ごめんなさい、お茶碗が割れました。」という、日本語として**違和感があります (feel uneasy)**。「ごめんなさい、お茶碗を割ってしまいました。」と言うと「ごめんなさい」という謝罪の意味と、「自分が割った」という行為との結びつきが良くなり、**謙虚な気持ち (modest feeling)** を表現できます。

これとは逆に、お茶を淹れて目上の人に出すとき、「お茶が入りました」と表現することがあります。これは、「お茶を入れました」という日本語では少し**恩着せがましく (patronizing)** 聞こえるからです。

他の例として、子どもが何かよくないことをして謝る時、日本語では「もうしません。(自分がもう悪いことをしない)」と他動詞的に表現するのに対し、英語では、**"It will never happen again."** (このようなことはもう起きない) と、日本語とは正反対に自動詞的に表現することが多いのです。

実践トレーニング編 5

「日本事象」英訳トレーニングにチャレンジ⑤

現代用語の英語説明にチャレンジ！

ここでは、日本の現在を語るキーワードの中で、特に外国人観光客が興味をもちそうなものを20厳選し、それらを英文で説明する練習をしましょう！各項目でキーワードを最初に提示しましたので、それを見ながら、どのように説明したらよいか考えながら、読み進めてください。ではスタート！

現代用語の英語説明にチャレンジ！

重要度 **1** 位 | **マイナンバー (My Number)**

以下の key words を見て、「マイナンバー」の説明にチャレンジしてみましょう！

「マイナンバー」説明の Key Words

- ・ a 12-digit number / a three-month residency
- ・ the Social Security and Tax Number System
- ・ control the individual data by number identification
- ・ administrative efficiency and public convenience
- ・ personal information leakage
- ・ pension and healthcare eligibility / tax declaration

できる人は、上の key words を見て、英語でプレゼンにチャレンジしてみましょう。いきなり英語で説明するのが難しい人は、上の key words を参考にして、まず日本語で説明を考えてみましょう。

- ① マイナンバーは、日本にいる外国人も含め**3か月を超える居住歴のある個人**に発行される**12桁の番号**である。
- ② この制度（「**社会保障・税番号制度**」とも呼ばれる）は、2015年10月、**数字による識別により個人データを管理するために導入**された。
- ③ この制度は**行政の効率や国民の利便性**を高め、**脱税**などの罪を防ぐ。
- ④ しかし、マイナンバー通知カードあるいはマイナンバーカード（請求により発行される）を紛失すると、**個人データが漏れ、不法に使用**される可能性がある。
- ⑤ マイナンバーは**年金や医療介護**を受けたり、**税金の申告**をするための**行政上の手続き**に必要である。

では今度は、上の日本語を見て、英語の通訳やプレゼンにチャレンジしてみましよう！

Sample Answer (Written English)

① *My Number* is a **12-digit number** issued to individuals with **the records of more than a three-month residency**, including foreign residents in Japan. ② This system, also called the **Social Security and Tax Number System**, was introduced in October, 2015 **to control the individual data by number identification**. ③ This system **increases administrative efficiency and public convenience** and prevents crimes such as **tax evasion**. ④ However, the loss of My Number notification card or My Number card (issued upon request) **causes a leakage of personal information and its illegal use**. ⑤ *My number* is required in **administrative procedures for pension and healthcare eligibility** as well as **tax declaration**.

上の英文はパンフレットやHPや洋雑誌、洋書などに使われるフォーマルな written English です。これを会話調に平たく言い換えると次のようになります。

Spoken English で言い換えると！



Sample Answer (Spoken English)

①My Number, or Individual Number, is a 12-digit number which is issued to people who have lived in Japan for more than three months, including foreign residents in Japan. ②This system was introduced in October, 2015 to control the individual data by number identification. ③This system decreases governments' paperwork and citizens' official procedures, and prevents people from failing to pay a tax. ④However, if you lose your My Number Notification card or My Number card, somebody may reveal your personal information or illegally use it. ⑤You need to show My Number to receive a pension and healthcare, and make a tax declaration.

ここがポイント!

さて皆さん、いかがでしたか？ ここでは上の written English と spoken English の違いをみてみましょう。上の2つの英文の違いを表で示します。

文番号	Written English	Spoken English
①	individuals with the records of more than a three-month residency	people who have lived in Japan for more than three months
①	a 12-digit number issued	a 12-digit number which is issued
③	This system increases administrative efficiency and public convenience	This system decreases governments' paperwork and citizens' official procedures
④	the loss of My Number Notification card or My Number card(issued upon request) causes a leakage of personal information and its illegal use	if you lose your My Number Notification card or My Number card, somebody may reveal your personal information or illegally use it.
⑤	<i>My Number is required in</i> administrative procedures for pension and healthcare eligibility as well as tax declaration.	You need to show My Number to receive a pension and healthcare, and make a tax declaration.

まず語彙をみてみましょう。①「3か月を超える居住歴のある個人」Individuals with more than a three-month residency 《Written》 に対し people who have lived in Japan for more than three months 《Spoken》, A 12-digit number issued 《Written》 に対し a 12-digit number which was issued 《Spoken》, ⑤ My Number is required 《Written》 に対し You need to show My Number 《Spoken》 となっています。

これらの例では《Spoken》では平たい語で主語、動詞を含む節で表現しているのに対し、《Written》では名詞句で語数少なく表現しています。《Spoken》ではジェスチャーも交えてスピード感をもって伝えることが多いですが、同じ内容を伝える場合でも《Written》では読み手の労力を少なく、紙面のむだもないように書く必要があります。

次に、その他の違いについてみてみましょう。

③「この制度により行政の効率や国民の利便性を高め、脱税などの罪を防ぐ」の部分の最初の部分は、日常見たり聞いたりする日本語の表現にすると、「行政の無駄をなくし」となるでしょう。「行政の無駄をなくし」→「行政の効率性を高める」と発想を転換し、written Englishでは“**This system increases administrative efficiency**”とSVO表現を使い無駄なくダイレクトに表現しています。spoken Englishでは“**This system decreases governments’ paperwork**”となっており、これでも意味は変わりません。ちなみに、会話では意味がわかりにくければ追加の質問もできる場面も多いと思いますが、written Englishでは意味がダイレクトに伝わるように書いておく必要があります。

④「マイナンバー通知カードあるいはマイナンバーカードの紛失により、個人データが漏れ、不法に使用される事態を引き起こすことになる」を《Spoken》では**if you lose your My Number Notification card or My Number card, somebody may reveal your personal information or illegally use them.**とif～, 主語+動詞～で表現しています。《Written》では**the loss of My Number ~ causes a leakage of personal information and its illegal use**と無生物主語を使いSVO構文で書いています。このように「～すると、～すれば」をSVO構文で表現することで因果関係がはっきりしてダイレクトで無駄のない表現となり、これは特にジェスチャーを交えない書き言葉では重要なテクニックです。

植田 一三 (Ichay Ueda)

英語の最高峰資格 8 冠突破・英才教育&英語教育書ライター養成校「アクエアリーズ」学長。英語の勉強を通して、人間力を鍛え、自己啓発と自己実現を目指す「英悟道」、Let's enjoy the process! (陽は必ず昇る)] をモットーに、36 年間の指導歴で、英検 1 級合格者を約 2200 名以上、資格 5 冠 (英検 1 級・通訳案内士・TOEIC 980 点・国連英検特 A・工業英検 1 級) 突破者を約 110 名以上育てる。ノースウェスタン大学院修了後、テキサス大学博士課程に留学し、同大学で異文化間コミュニケーションを指導。著書は英検 1 級・TOEIC 満点・通訳案内士・工業英検 1 級・国連英検特 A 突破対策本をはじめ、英語・中国語・韓国語・日本語学習書と多岐に渡り、多くはアジア 5 か国で翻訳されている。

上田 敏子 (うえだ・としこ)

アクエアリーズ副学長。英検 1 級・通訳案内士・工業英検 1 級・国連特 A 級対策講座講師。バーミンガム大学院(翻訳学)修了(優秀賞)。通訳案内士、観光英検 1 級(優秀賞)、工業英検 1 級(文部科学大臣賞)、「国連英検特 A」(優秀賞)取得。鋭い異文化洞察と芸術的鑑識眼を備えた英語教育界のワンダーウーマン。日本紹介関係の主な著書に、『英語で説明する日本の文化』シリーズ、『英語でガイドする関西/関東の観光名所 10 選』(語研)、『英語でガイド! 外国人がいちばん知りたい和食のお作法』(Jリサーチ出版)、『日本人についての質問に論理的に答える発信型英語トレーニング』(ベレ出版) などがある。季刊誌『ゼロからスタート English』にて「ボランティア通訳ガイド入門」を連載中。

© Ichizo Ueda; Toshiko Ueda, 2020, Printed in Japan

英語で説明する「日本」 発信力強化法とトレーニング

2020 年 9 月 15 日 初版第 1 刷発行

著者 植田 一三
上田 敏子
制作 ツディブックス株式会社
発行者 田中 稔
発行所 株式会社 語研
〒101-0064
東京都千代田区神田猿樂町 2-7-17
電話 03-3291-3986
ファクス 03-3291-6749
組版 ツディブックス株式会社
印刷・製本 倉敷印刷株式会社

ISBN978-4-87615-360-2 C0082

書名 エイゴデ セツメイスル ニッポン
ハッシンリョクキョウカホウト トレーニング
著者 ウエダ イチソウ
ウエダ トシコ
著作者および発行者の許可なく転載・複製することを禁じます。

定価はカバーに表示してあります。
乱丁本、落丁本はお取り替えいたします。

株式会社 語研
GOKEN

語研ホームページ <https://www.goken-net.co.jp/>

本書の感想は
スマホから ↓





英語で説明する「日本」 発信力強化法とトレーニング

ためし読みはここからです。

Webページへ

